AgileWorks R3

組織関連インポートガイド

R3.3 第 1 版(2026/07/15)

ATLED

目次／索引

1. 組織関連インポートについて 4
1.1. 組織関連インポートジョブ 4
1.2. 組織関連インポートジョブの流れ 4
1.3. 組織関連インポートジョブの設定方法 5
1.4. 組織関連インポートジョブの実行方法 5
2. ジョブの設定 6
2.1. 組織関連インポートジョブ設定の新規作成 6
2.2. インポート設定項目 7
取込形式（全件取込と差分取込） 7
その他のインポートポリシー設定 7
2.3. 組織関連インポートジョブ設定の確認と編集 8
2.4. 組織関連インポートジョブの通知設定 8
3. インポートデータの準備 9
3.1. ファイル種類 9
3.2. データ形式 10
3.3. インポートファイルのレイアウトについて 10
3.4. その他注意事項 10
4. 組織関連インポートの実行 11
4.1. 管理サイトからの即時実行 11
4.2. 設定を用いたスケジュール実行 12
4.3. バッチ実行による即時実行 16
スクリプトの取得・構成・接続する AgileWorks の設定 16
スクリプトの実行 16
インポート結果の確認 18
4.4. 組織関連インポートジョブを実行する際の注意点 19
インポート実行モード 19
適用開始日・適用終了日について 19
基準日について 19
5. 組織関連インポートジョブの結果確認 20
5.1. ステータスの確認 20
5.2. 実行状況・実行結果の詳細確認 20
5.3. インポート実行ログ 21
6. インポートファイルの項目レイアウト 22
6.1. ユーザー 23
6.2. 組織 25
6.3. セクションロールグループ 27
6.4. セクションロール 28
6.5. セクションロールグループ所属 30
6.6. 組織所属ユーザー 31
6.7. ユニバーサルロール 32
6.8. ユニバーサルロール所属ユーザー 33
6.9. プライベートロール所属ユーザー 34
6.10. 組織移管 34
6.11. 代理申請設定 35
6.12. 代理承認設定 36
6.13. 権限委譲設定 37
6.14. 引上げ権限設定 38
7. CSV データ作成のヒント 39
7.1. エクスポートから CSV 作成 39
7.2. CSV サンプル（組織） 40
初期投入の例 40
組織新設の例 41
組織名称変更の例 42
削除の例 43
コード変更の例 44
7.3. CSV サンプル（組織所属ユーザー） 45
初期投入の例 45
所属ユーザー追加の例 46
所属ユーザー削除の例 47
ユーザーのセクションロール変更の例 48
ユーザーの所属組織異動の例 49
8. 履歴モードについて 50
8.1. 履歴モード有効時のデータ例 50

◆ 改版履歴

版数	年月日	改版内容
第 1 版	2026 年 07 月 15 日	第 1 版作成

1. 組織関連インポートについて

組織関連インポート機能によって、CSV ファイルから、AgileWorks の組織関連マスタ（組織、ユーザー、所属、ユニバーサルロール等）への一括登録・変更を行なうことができます。

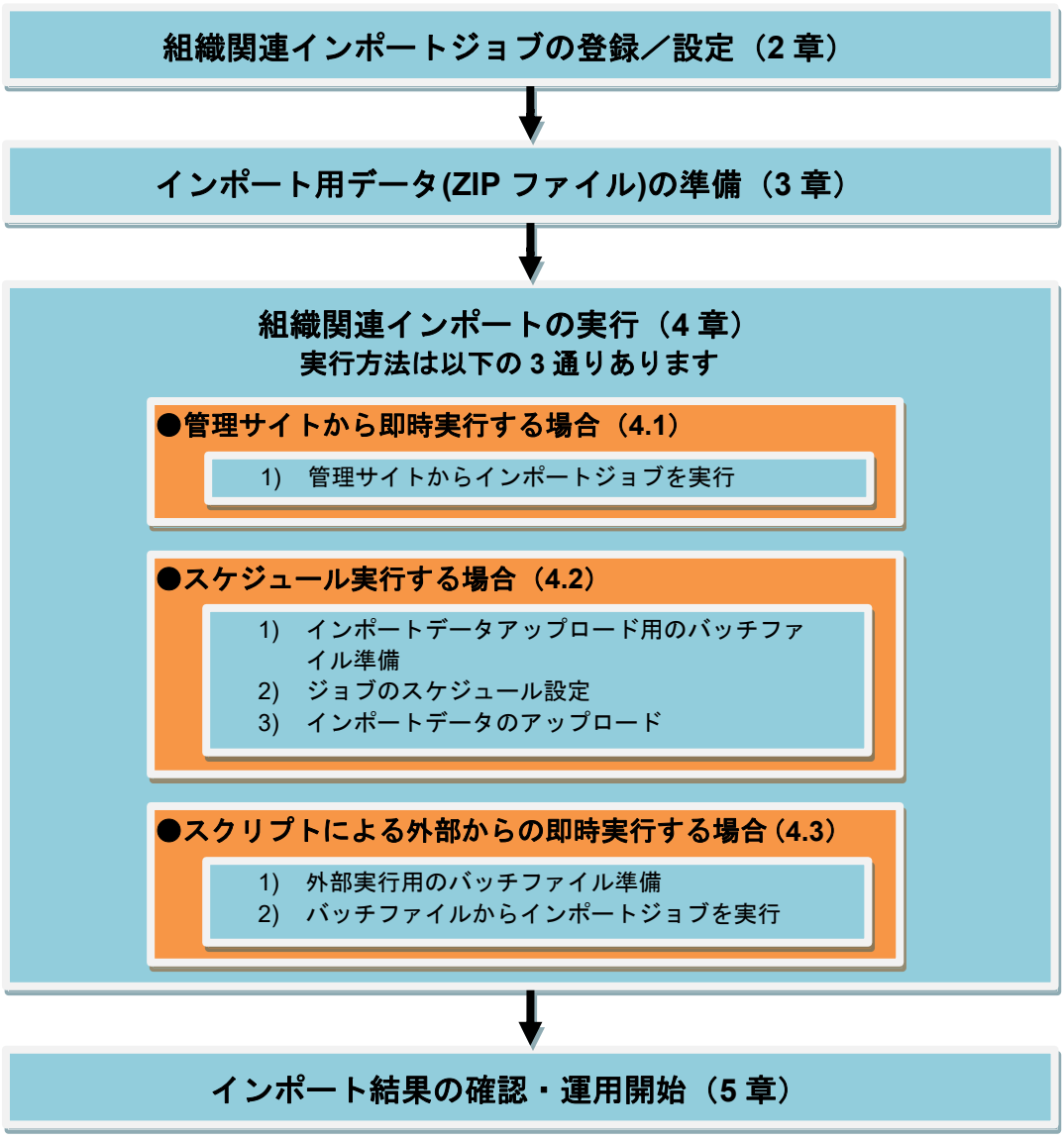
1.1. 組織関連インポートジョブ

AgileWorks のジョブ機能を利用し組織関連データをインポートします。
組織関連インポートのジョブ設定を任意に追加し、設定されたジョブについて即時実行したり、スケジュール実行することができます。

1.2. 組織関連インポートジョブの流れ

組織関連インポートジョブは以下のような流れ／手順で設定／実行します。

▼組織関連インポートジョブの流れ



1.3. 組織関連インポートジョブの設定方法

組織関連インポートジョブの設定は AgileWorks の管理サイトから行います。
具体的な設定については、「インポートジョブの設定」の章を参照してください。

1.4. 組織関連インポートジョブの実行方法

組織関連インポートジョブの実行は以下の 3 通りあります。
実行方法については、それぞれの章を参照してください。

- ジョブ設定画面から即時実行
- ジョブ設定画面からスケジュール設定して、定期的に実行
- バッチ実行による即時実行

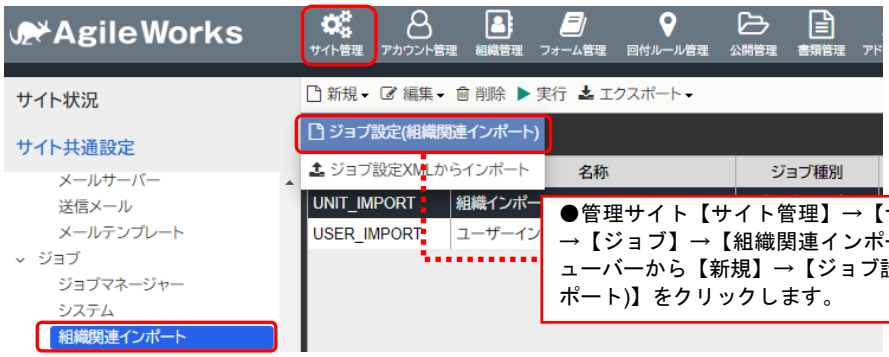
2. ジョブの設定

組織関連インポートのジョブ設定・実行の操作方法について説明します。

2.1. 組織関連インポートジョブ設定の新規作成

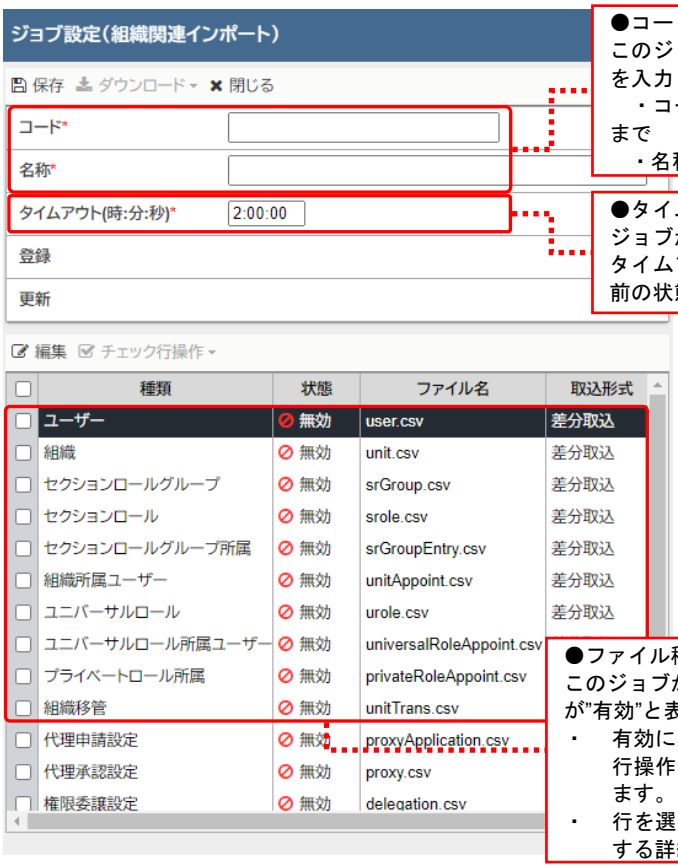
以下の画面・手順でジョブ設定を新規作成します。

▼管理サイト【サイト管理】→【サイト共通設定】→【ジョブ】→【組織関連インポート】



●管理サイト【サイト管理】→【サイト共通設定】→【ジョブ】→【組織関連インポート】画面のメニューバーから【新規】→【ジョブ設定(組織関連インポート)】をクリックします。

▼ジョブ設定（組織関連インポート）



●コード・名称の指定
このジョブを識別する為の任意の「コード」「名称」を入力します。
・コード：半角英数の一意な文字列／100 文字まで
・名称：任意の文字列(日本語可)／255 文字まで

●タイムアウトの指定
ジョブがタイムアウトする時間を指定。
タイムアウトするとジョブが中断されインポート前の状態へもどります。

●ファイル種類の一覧
このジョブからインポートするファイルには「状態」列が"有効"と表示されます。
- 有効にしたいファイルにチェックして【チェック行操作】→【有効】をクリックすると有効にできます。
- 行を選択してダブルクリックすると、選択行に関する詳細設定画面が開きます。

組織関連インポートジョブの実行時間について
組織関連インポートの実行時間はインポートするデータ量や AgileWorks の利用状況などに影響されます。
組織関連に大量のデータをインポートする場合は、夜間にスケジュール実行するなどの運用をお願いします。
また、夜間に実行しユーザーが利用し始める時間にはジョブをタイムアウトさせるため、タイムアウト設定は最大 8 時間を目安に指定してください。

▼インポートするファイル毎の詳細設定画面



設定項目の説明は「インポート設定項目」を参照してください。

2.2. インポート設定項目

組織関連インポートは、取込形式（全件 or 差分）や、ファイル名称・文字コードなどいくつかの取込ルールについて設定で指定することができます。
この章ではインポート設定項目について説明します。

取込形式（全件取込と差分取込）

インポートには全件取込と差分取込の 2 種類があります。

項目	説明
全件取込	全件データ（レコード）を準備してインポートを実行します。 インポートデータに存在しない既存データは削除扱いとなります。
差分取込	変更差分のデータ（レコード）だけを準備してインポートを実行します。 既存データの削除を行う場合は、削除レコードもインポートする必要があります。

その他のインポートポリシー設定

組織関連インポートジョブの設定から、インポートにおける各種ポリシー設定を行なうことができます。

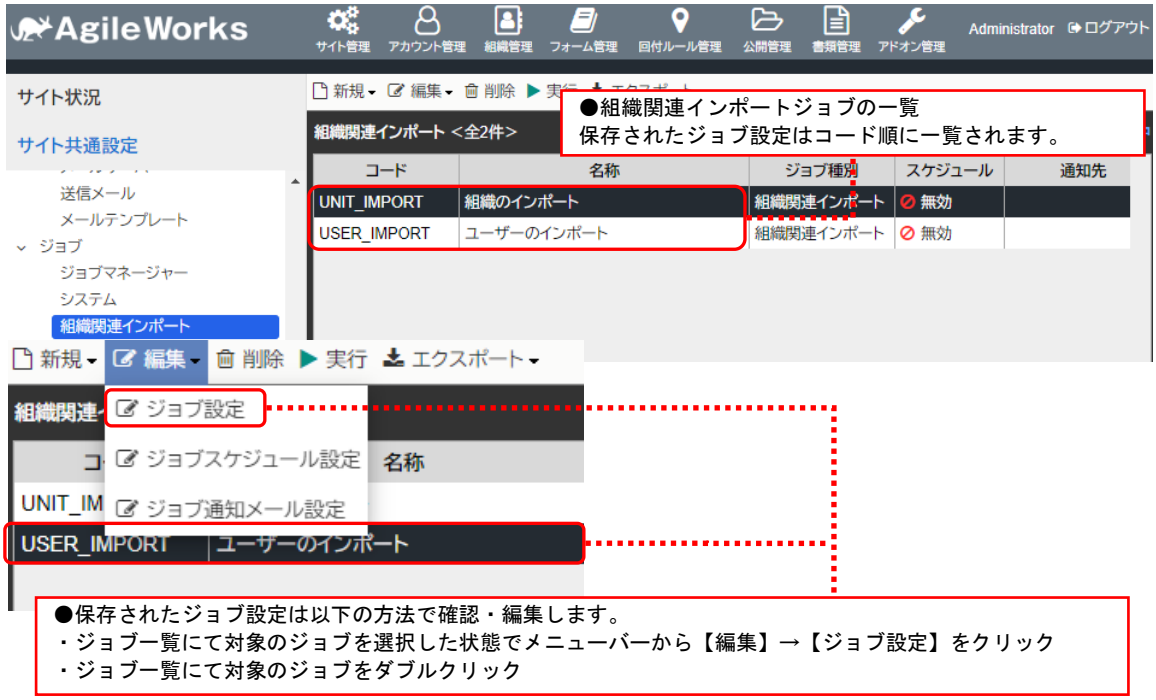
設定項目	説明
ファイル名称	インポートに利用する CSV ファイル名称を設定 (※)ファイル名称に日付を付与する等、可変なファイル名称は指定できません。
文字コード	CSV ファイルの文字コードを設定 ※MS932(Shift_JIS 拡張)か UTF-8 のいずれかを指定可能。
ヘッダー行有無	CSV ファイルの 1 行目をヘッダー行として読み飛ばすか否かを指定
エラー発生時	エラー発生時のポリシー設定として、以下いずれかを指定。 ・当該行のみエラーとして次行へ進む ・1 行でもエラーがあれば何もしない

日付フォーマット	日付系カラムのフォーマットについて、以下いずれかを指定。 ・yyyyMMdd ・yyyy/MM/dd ・yyyy-MM-dd ※日付系カラムとは「適用開始日」「適用終了日」などのカラムを示します。
適用終了日設定	履歴モードが有効な場合に設定する項目です。 履歴モードの詳細は「履歴モードについて」を参照ください。
パスワード項目	CSV に設定されたパスワード項目のエンコードタイプを指定します。 ・平文 パスワード項目を平文(エンコードなし)と見なして取り込みます。 登録時にパスワードは暗号化して保存されます。 ・エンコード済み パスワード項目が「SHA-256/MD5/UNIX Crypt」どれかでエンコードされていると見なして取り込みます。

2.3. 組織関連インポートジョブ設定の確認と編集

以下の画面・手順でジョブ設定の確認と編集を行います。

▼管理サイト【サイト管理】→【サイト共通設定】→【ジョブ／組織関連インポート】



2.4. 組織関連インポートジョブの通知設定

ジョブ通知メールを設定すると、組織関連インポートジョブが実行開始／実行完了したタイミングで設定したメールアドレスにメールで通知します。
ジョブのメール通知設定に関しては別紙「Aw03-ジョブガイド」の「ジョブの通知メール設定」を参照ください。

3. インポートデータの準備

インポートするデータを以下の仕様を確認の上、用意します。

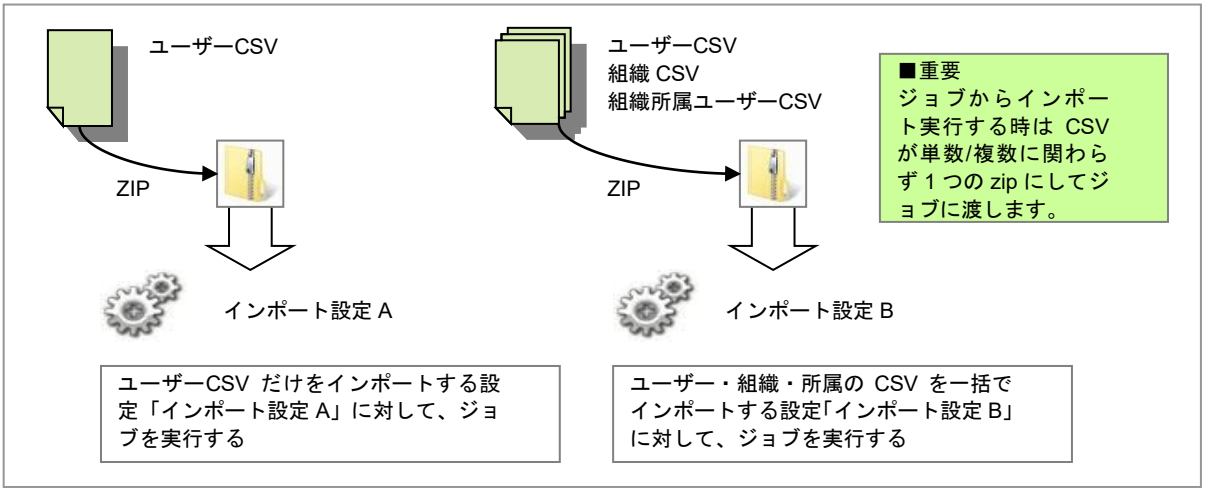
3.1. ファイル種類

▼ インポートできる CSV ファイルの種類

種類	説明
ユーザー	ユーザーマスタ（ログインアカウント）のインポートを行います。
組織	組織マスタ（会社・部署）のインポートを行います。
セクションロールグループ	セクションロールグループのインポートを行います。
セクションロール	セクションロールのインポートを行います。
セクションロールグループ所属	セクションロールグループに所属するセクションロールのインポートを行います。
組織所属ユーザー	組織に所属するユーザーのインポートを行います。
ユニバーサルロール	ユニバーサルロールのインポートを行います。
ユニバーサルロール所属ユーザー	ユニバーサルロールに所属するユーザーのインポートを行います。
プライベートロール所属	プライベートロールに所属するユーザーのインポートを行います。
組織移管	書類のアクセス権限や書類オーナー情報を移管するデータをインポートします。 組織移管データのインポートは履歴モードが有効な場合に利用できます。 履歴モードの詳細は「履歴モードについて」を参照ください。
代理承認設定	代理承認ユーザー設定のインポートを行います。
代理申請設定	代理申請ユーザー設定のインポートを行います。
権限委譲設定	権限委譲設定のインポートを行います。
引上げ権限設定	引上げ権限設定のインポートを行います。

・ CSV ファイル名称は、ジョブ設定から指定することができます。
・ それぞれの CSV ファイルの項目レイアウトについては「項目レイアウト」を参照してください。

ヒント
それぞれの CSV は、複数 CSV をまとめて一括投入することも、それぞれ個別で投入することも可能です。
1 度のジョブでどの CSV を投入するかについては、ジョブ設定から指定できるようになっています。
ジョブから実行する場合には、CSV ファイル(群)を 1 つの ZIP ファイルにまとめてから実行します。



3.2. データ形式

形式	説明
拡張子	可変長テキスト形式の CSV ファイル
文字コード	ジョブ設定にて指定した文字コードを使用してください。
区切り文字	カンマ「, 」(半角) 書類に利用するデータ内にカンマが存在する場合は、項目の前後を半角のダブルクォーテーション「"」で囲む事によって利用できます。 ※カンマが存在しない場合でも囲んでも構いません。
囲み文字	ダブルクォーテーション「"」(半角) 書類に利用するデータ内に「"」が存在する場合は、項目の前後を半角の「"」で囲み、 且つデータに利用したい「"」を 2 重に入力することで利用できます。 ※例）文字列「aaaa"bbbb」 > CSV データ上の入力内容「,"aaaa""bbbb",」
改行コード	「CR+LF／LF／CR」の 3 種類を改行として認識します。
1 行目の扱い	ジョブ設定の【ヘッダー行有無】の設定に従ってください。 ヘッダー行を含む場合、1 行目をスキップします。
フィールドの順番	ジョブ設定の【項目レイアウト】で設定した順番でデータを作成してください。 ※ヘッダー行の入力値と選択されているフィールド名が一致する必要はありません。
取込方式	ジョブ設定の【ポリシー】の【取込形式】で設定した形式で取り込まれます。

例）
〇『1,20100401,20110331,test,あいうえお』
〇『"1", "20100401", "20110331", "test", "あいうえお"』

▼『あいう,えお』が 1 つのデータ項目の場合
×『1,20100401,20110331,test,あいう,えお』
〇『1,20100401,20110331,test,"あいう,えお"』

▼『aaaa"bbbb』がデータ項目の場合
×『1,20100401,20110331,test,"aaaa"bbbb"』
〇『1,20100401,20110331,test,"aaaa""bbbb"』

3.3. インポートファイルのレイアウトについて

各 CSV ファイルの項目レイアウト（レコードフォーマット）については「インポートファイルの項目レイアウト」を参照してください。

3.4. その他注意事項

1) CSV ファイル内のデータ並び順
CSV ファイル内のデータの並び順は、以下の点に注意してください。

・組織 CSV データの並びについて、親組織より前行に配下組織が現れても問題ありませんが、親組織の新規取込でエラーとなった場合、配下組織の取込もエラーとなります。

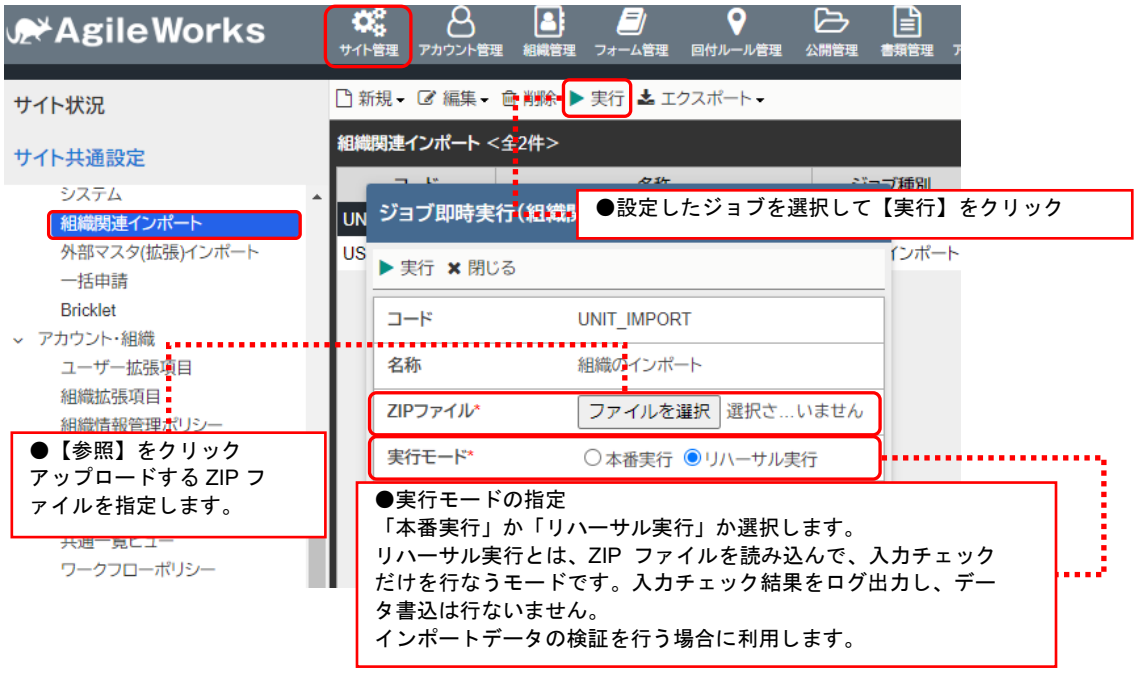
4. 組織関連インポートの実行

この章では、組織関連インポートを実行する 3 つの方法について説明します。

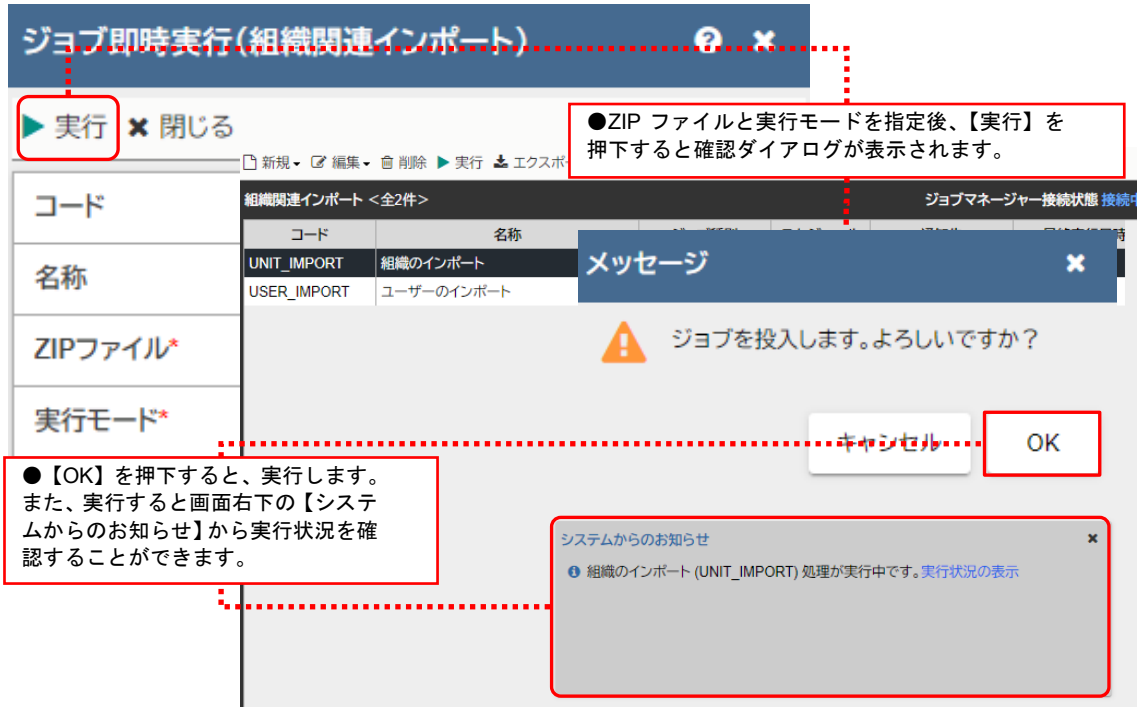
4.1. 管理サイトからの即時実行

以下の画面から組織関連インポートジョブを実行します。

▼管理サイト【サイト管理】→【サイト共通設定】→【ジョブ】→【組織関連インポート】



▼組織関連インポートジョブの即時実行

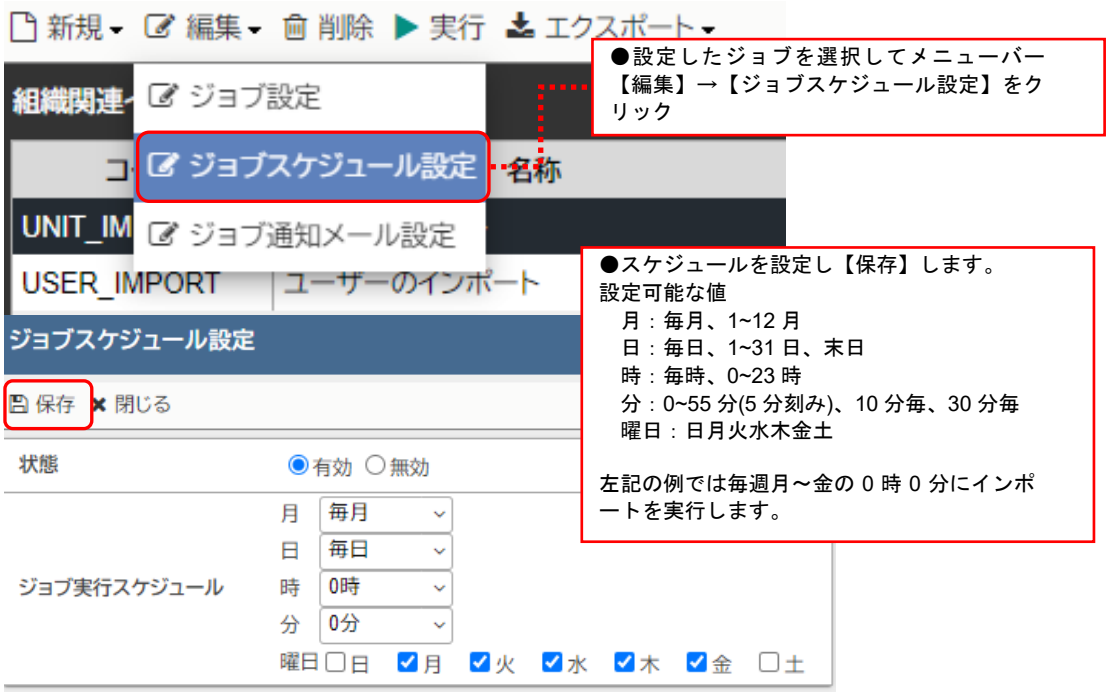


実行状況・実行結果の確認は「組織関連インポートジョブの結果確認」を参照ください。

4.2.　設定を用いたスケジュール実行

ジョブを定期的に実行するにはスケジュール設定を行ないます。
組織関連インポートは、基盤となる組織・ユーザー・所属等のマスタ情報を更新する為、ワークフロー動作に影響する可能性があり、運用時間帯外に実行することを強く推奨しております。

▼スケジュール設定（管理サイト【サイト管理】→【サイト共通設定】→【ジョブ】→【組織関連インポート】）



スケジュール設定すると、設定した時間帯に組織関連インポートジョブが実行されます。
組織関連インポートジョブで読み込む ZIP ファイルは「インポートファイルのファイルアップロード」の要領で、実行時間までにサーバーへアップロードしておきます。

スケジュール実行時の実行モードについて
スケジュール実行する場合の実行モードはインポートファイルのアップロード時に指定します。

インポートファイルのアップロード

インポートジョブをスケジュール実行する場合、実行時間までに、インポートするファイルをアップロードしておく必要があります。

スクリプトの実行条件

AgileWorks が提供するスクリプトは AgileWorks に対して、アクセス可能なネットワークポート(80 番など)でネットワーク接続が可能である環境において実行することができます。
また、スクリプトを実行する環境に AgileWorks 本体と同じ JRE がインストールされている必要があります。

【スクリプトの取得】

サポートサイトより zip ファイルをダウンロードし、スクリプトを実行する環境に配置・展開してください。
zip ファイルを展開すると、 remote というディレクトリが生成されます。
→ c:¥apps¥aw_org_import¥remote(展開後のディレクトリ) など

【スクリプトの構成】

remote ディレクトリ配下は以下の構成となっています。

remote 配下のディレクトリ	ファイル	備考
bin 配下	ー	スクリプトの内部モジュール
bricklet 配下	ー	Brickelt ジョブに利用するファイル ※組織関連インポートでは利用しない
bulk_apply 配下	ー	一括申請ジョブに利用するファイル ※組織関連インポートでは利用しない
conf	remote_env.bat	設定ファイル
	remote_env.sh	
org_import	remote_cmd.bat	【実行スクリプト】 各スクリプトが内部で実行するスクリプト
	remote_cmd.sh	
	submit.bat	【ジョブ実行用スクリプト】 外部からインポートジョブを実行する際に利用します
	submit.sh	
	submit_wait.bat	
	submit_wait.sh	
	upload.bat	【アップロードスクリプト】 インポートファイルのアップロードに利用します
	upload.sh	
doc_export 配下	ー	書類ファイル出力(バッチ)に利用するファイル ※組織関連インポートでは利用しない
user_mst_import 配下	ー	外部マスタインポートに利用するファイル ※組織関連インポートでは利用しない

組織関連インポートでは上記の bin / conf / org_import を利用します。

接続するAgileWorksの設定

conf/remote_env.sh(bat)を実行環境に合わせてテキスト編集します。

▼remote_env.bat(Windows)の場合

```
rem 接続先 URL を指定して下さい
set AWURL=http://127.0.0.1/AgileWorks

rem ログイン ID を指定して下さい
set USER=mst_import_user

rem パスワードを指定して下さい
set PASS=********

・・・
```

●設定例

```
rem 接続先 URL を指定して下さい
set AWURL=https://atled.import/AgileWorks

rem ログイン ID を指定して下さい
set USER=mst_import_user

rem パスワードを指定して下さい
set PASS=mst_import_pass
```

▼remote_env.sh(Linux)の場合

```
# 接続先サーバーを指定して下さい
AWURL=http://127.0.0.1/AgileWorks

# ログイン ID を指定して下さい
USER=mst_import_user

# パスワードを指定して下さい
PASS=********

・・・
```

【スクリプト内の編集】

設定値	説明
AWURL	接続先 AgileWorks の URL を指定します。
USER	実行ユーザーのログイン ID を指定します。 admin ユーザーを指定するか、または全コンテンツ・全業務カテゴリへの権限を持つ管理ロールを保持するユーザーを指定してください。
PASS	実行ユーザーのパスワードを指定します。

アップロードスクリプトの実行

org_import/upload.sh(bat)
に引数を渡して実行します。

【スクリプトに渡す引数】
スクリプト実行時は以下の引数を指定してください。

引数名	必須	説明
CODE	○	対象の組織関連インポートジョブのコードを指定します。
DATA	○	アップロードするファイルをフルパスで指定します。
MODE		アップロードした ZIP ファイルを利用するジョブの実行モードを指定します。 指定した実行モードに関わらず、ZIP ファイルはアップロードされます。 実行モードを省略した場合は”本番モード”として動作します。 本番モード：REALPART_FAST リハーサルモード：REHEARSAL
CDATE		基準日を指定します。基準日は以下の形式で指定してください。 -c yyyy-MM-dd 例. -c 2015-10-30 基準日を指定しない場合はサーバのシステム日付が基準日に設定されます。 履歴モードが無効な環境の場合指定しないでください。

アップロード時に指定する実行モードは、以下のように作用します。
▼リハーサルモードを指定した場合
アップロードされたファイルをインポートするジョブが”リハーサルモード”で実行される。
▼本番モードを指定した場合
アップロードされたファイルをインポートするジョブが”本番モード”で実行される。

【スクリプト実行方法（Windows）】
・ コマンドプロンプトを開きます。
・ 環境変数（JAVA_HOME）を設定します

```
set JAVA_HOME= c:¥PROGRA~1¥JAVA¥jdk1.8.0_60
```

※ この例では、C:¥Program File¥JAVA に JRE をインストールした環境を前提としています。
実際の設定値はお使いのマシン環境に合わせてください。

・ 実行ディレクトリへ移動します。

```
cd c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import
```

※ この例では、アップロードスクリプト一式を c:¥apps¥aw_org_import に配置した環境を前提としているので、移動先ディレクトリはお使いのマシン環境に合わせてください。

・ ファイルアップロードを実行します。

```
upload.bat $CODE $DATA $MODE $CDATE
```

【スクリプト実行方法（Linux）】
・ 環境変数（JAVA_HOME）を設定します

```
export JAVA_HOME=/usr/local/jdk1.8.0_60
```

※ この例では、/usr/local に JRE をインストールした環境を前提としています。
実際の設定値はお使いのマシン環境に合わせてください。

・ 実行ディレクトリへ移動します。

```
cd /home/aw_org_import/remote/org_import
```

※ この例では、アップロードスクリプト一式を/home/aw_org_import に配置した環境を前提としているので、移動先ディレクトリはお使いのマシン環境に合わせてください。

・ 以下のコマンドを実行し、コピーしたスクリプトファイルに実行権限を付与します。

```
chmod a+x upload.sh
chmod a+x remote_cmd.sh
```

・ ファイルアップロードを実行します。

```
./upload.sh $CODE $DATA $MODE
```

アップロードスクリプトの実行例

【Windows 環境：スクリプトを c:¥apps¥aw_org_import¥remote に配置した場合】

▼正常にアップロードできた場合

```
c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import>upload.bat UNIT_IMPORT C:¥apps¥data¥UNIT_IMPORT.zip REHEARSAL
<?xml version="1.0" ?>
<Response>
   <Status>SUCCEED</Status>
</Response>
c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import>
```

▼存在しないジョブコードを指定し、エラーとなった場合

```
c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import> upload.bat UNIT_IMPOR C:¥apps¥data¥UNIT_IMPOR.zip REHEARSAL
<?xml version="1.0" ?>
<Response>
   <Status>FAIL</Status>
   <ErrorCode>APIJOB-W0001</ErrorCode>
   <HttpStatusCode>500</HttpStatusCode>
   <MessageText>APIJOB-W0001: 指定されたコード「UNIT_IMPOR」が登録されていません。</MessageText>
</Response>
c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import>
```

【Linux 環境：スクリプトを/home/aw_org_import/remote に配置した場合】

▼正常にアップロードできた場合

```
[import_user@localhost org_import]# upload.sh UNIT_IMPORT /home/data/UNIT_IMPORT.zip REHEARSAL
<?xml version="1.0" ?>
<Response>
   <Status>SUCCEED</Status>
</Response>
[import_user@localhost org_import]#
```

▼存在しないジョブコードを指定し、エラーとなった場合

```
[import_user@localhost org_import]# upload.sh UNIT_IMPOR /home/data/UNIT_IMPORT.zip REHEARSAL
<?xml version="1.0" ?>
<Response>
   <Status>FAIL</Status>
   <ErrorCode>APIJOB-W0001</ErrorCode>
   <HttpStatusCode>500</HttpStatusCode>
   <MessageText>APIJOB-W0001: 指定されたコード「UNIT_IMPOR」が登録されていません。</MessageText>
</Response>
[import_user@localhost org_import]#
```

アップロードスクリプトのステータスコード

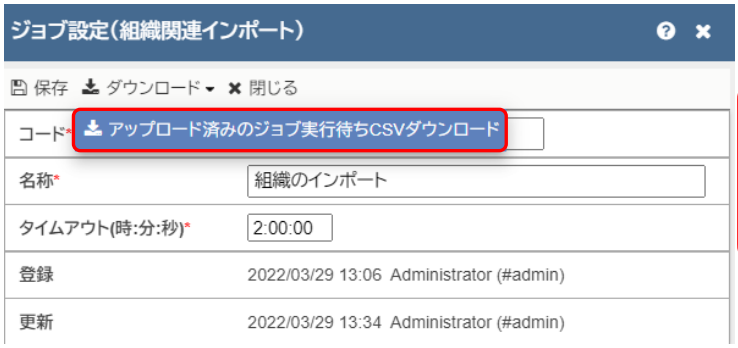
アップロードスクリプトを実行した際に、結果として表示される主なステータスコードです。

コード	説明
SUCCESS	アップロードが完了しました。
FAIL	アップロードに失敗しました。

アップロード結果の確認

【実行結果の確認】

管理サイト【サイト管理】→【サイト共通設定】→【ジョブ】→【組織関連インポート】画面から、ファイルアップロードの実行結果を確認します。



このリンクが利用状態になっていればアップロードが成功したこととなります。
このジョブが実行されると、アップロードされたファイルは削除されます。

アップロードの注意事項
1 つの組織関連インポートジョブにつき、一度にアップロードできる ZIP ファイルは 1 ファイルです。
アップロード後、スケジュール実行される前に再度 ZIP ファイルをアップロードすると、最後にアップロードした ZIP ファイルが有効となります。

4.3. バッチ実行による即時実行

AgileWorks が提供するスクリプトを利用することによって、AgileWorks が導入されている環境以外から組織関連インポートジョブを実行することができます。
このスクリプトはインポートする ZIP のアップロードと、組織関連インポートジョブの実行を行います。

スクリプトの取得・構成・接続するAgileWorksの設定

インポートスクリプトはアップロードスクリプトと同じものを利用し、設定も同様となりますので、詳細は
「インポートファイルのアップロード」を参照してください。

スクリプトの実行

バッチ実行用のスクリプトは、2 種類用意されています。

ファイル	説明
org_import/submit.sh(bat)	ジョブを実行します。実行結果は表示されません。
org_import/submit_wait.sh(bat)	ジョブを実行し、完了するまで待機します。 ジョブの完了後、結果を表示します。

上記どちらかのスクリプトに以下の引数を渡して実行します。

【スクリプトに渡す引数】

引数名	必須	説明
CODE	○	対象の組織関連インポートジョブのコードを指定します。
DATA	○	アップロードするファイルをフルパスで指定します。
MODE		ジョブの実行モードを指定します。（省略可） 実行モードを省略した場合は”本番モード”として動作します。 本番モード：REALPART_FAST リハーサルモード：REHEARSAL
CDATE		基準日を指定します。基準日は以下の形式で指定してください。 -c yyyy-MM-dd 例. -c 2015-10-30 基準日を指定しない場合はサーバのシステム日付が基準日に設定されます。 履歴モードが無効な環境の場合指定しないでください。

【スクリプト実行方法（Windows）】

・ コマンドプロンプトを開きます。
・ 環境変数（JAVA_HOME）を設定します

```
set JAVA_HOME= c:¥PROGRA~1¥JAVA¥jdk1.8.0_60
```

※ この例では、C:¥Program File¥JAVA に JRE をインストールした環境を前提としています。
実際の設定値はお使いのマシン環境に合わせてください。

・ 実行ディレクトリへ移動します。

```
cd c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import
```

※ この例では、アップロードスクリプト一式を c:¥apps¥aw_org_import に配置した環境を前提としているので、移動先ディレクトリはお使いのマシン環境に合わせてください。

・ 組織関連インポートジョブを実行します。

```
submit.bat $CODE $DATA $MODE
```

又は

```
submit_wait.bat $CODE $DATA $MODE
```

【スクリプト実行方法（Linux）】

・ 環境変数（JAVA_HOME）を設定します

```
export JAVA_HOME=/usr/local/jdk1.8.0_60
```

※ この例では、/usr/local に JRE をインストールした環境を前提としています。
実際の設定値はお使いのマシン環境に合わせてください。

・ 実行ディレクトリへ移動します。

```
cd /home/aw_org_import/remote/org_import
```

※　この例では、アップロードスクリプト一式を/home/aw_org_import に配置した環境を前提としているので、移動先ディレクトリはお使いのマシン環境に合わせてください。

・　以下のコマンドを実行し、コピーしたスクリプトファイルに実行権限を付与します。

```
chmod a+x submit.sh
chmod a+x submit_wait.sh
chmod a+x remote_cmd.sh
```

・　組織関連インポートジョブを実行します。

```
./submit.sh $CODE $DATA $MODE
```

又は

```
./submit_wait.sh $CODE $DATA $MODE
```

バッチ実行スクリプトの実行例（Windows環境の場合）

スクリプトを c:¥apps¥aw_org_import¥remote に配置した場合の例

【submit.bat の実行例】

・　正常に実行できた場合

```
c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import>submit.bat UNIT_IMPORT UNIT_IMPORT.zip REHEARSAL -c 2015-10-10
<?xml version="1.0" ?>
<Response>
  <Status>RUNNING</Status>
  <JobNo>000144</JobNo>
</Response>
c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import>
```

・　存在しないジョブコードを指定し、エラーとなった場合

```
c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import>submit.bat UNIT_IMPOR　UNIT_IMPORT.zip REHEARSAL -c 2015-10-10
<?xml version="1.0" ?>
<Response>
  <Status>FAIL</Status>
  <ErrorCode>APIJOB-W0001</ErrorCode>
  <HttpStatusCode>500</HttpStatusCode>
  <MessageText>APIJOB-W0001: 指定されたコード「UNIT_IMPOR」が登録されていません。</MessageText>
</Response>
c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import>
```

【submit_wait.bat の実行例】

・　正常に実行できた場合

```
c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import>submit_waitt.bat UNIT_IMPORT　UNIT_IMPORT.zip REHEARSAL
<?xml version="1.0" ?>
<Response>
  <Status>FINISHED</Status>
  <JobNo>000149</JobNo>

<FileKey><![CDATA[UABVTklUX0lNUE9SVF8yMDEzMDYyNl8wO
RkQyQUQyLXNlbmRvLTMkSyQAMAAz]]></FileKey>
</Response>
c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import>
```

●<Response>タグ内の<Status>に実行結果が表示されます。
実行例は、以下の状態です。
　FINISHED：正常終了
　WARN：警告終了

・　インポートにてエラーが発生した場合

```
c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import>submit_wait.bat UNIT_IMPOR　UNIT_IMPORT.zip REHEARSAL
<?xml version="1.0" ?>
<Response>
  <Status>WARN</Status>
  <JobNo>000158</JobNo>

<FileKey><![CDATA[UABVTklUX0lNUE9SVF8yMDEzMDYyNl8xMDQ4LnppcAAwMDAwMDAwMDAwMDAwOEU5LTM0
NDc3MENDLXNlbmRvLTMkSyQAMAAz]]></FileKey>
</Response>
c:¥apps¥aw_org_import¥remote¥org_import>
```

バッチ実行スクリプトの実行例（Linux環境の場合）

スクリプトを/home/aw_org_import/remote に配置した場合の例

【submit.sh の実行例】

・　正常に実行できた場合

```
[import_user@localhost org_import]# submit.sh UNIT_IMPORT /home/data/UNIT_IMPORT.zip REHEARSAL
<?xml version="1.0" ?>
<Response>
  <Status>RUNNING</Status>
```

```
  <JobNo>000145</JobNo>
</Response>
[import_user@localhost org_import]#
```

・　存在しないジョブコードを指定し、エラーとなった場合

```
[import_user@localhost org_import]# submit.sh UNIT_IMPOR /home/data/UNIT_IMPORT.zip REHEARSAL
<?xml version="1.0" ?>
<Response>
  <Status>FAIL</Status>
  <ErrorCode>APIJOB-W0001</ErrorCode>
  <HttpStatusCode>500</HttpStatusCode>
  <MessageText>APIJOB-W0001: 指定されたコード「UNIT_IMPOR」が登録されていません。</MessageText>
</Response>
[import_user@localhost org_import]#
```

【submit_wait.sh の実行例】

・　正常に実行できた場合

```
[import_user@localhost org_import]# submit_wait.sh UNIT_IMPORT /home/data/UNIT_IMPORT.zip REHEARSAL
<?xml version="1.0" ?>
<Response>
  <Status>FINISHED</Status>
  <JobNo>000159</JobNo>

<FileKey><![CDATA[UABVTklUX0lNUE9SVF8yMDEzMDYyNl8xM
QjVEM0U2LXNlbmRvLTMkSyQAMAAz]]></FileKey>
</Response>
[import_user@localhost org_import]#
```

●<Response>タグ内の<Status>に実行結果が表示されます。
実行例は、以下の状態です。
　FINISHED：正常終了
　WARN：警告終了

・　インポートにてエラーが発生した場合

```
[import_user@localhost org_import]# submit_wait.sh UNIT_IMPOR /home/data/UNIT_IMPORT.zip REHEARSAL
<?xml version="1.0" ?>
<Response>
  <Status>WARN</Status>
  <JobNo>000160</JobNo>

<FileKey><![CDATA[UABVTklUX0lNUE9SVF8yMDEzMDYyNl8xMDUyLnppcAAwMDAwMDAwMDAwMDAwOEVCLTM1
QTdCQzY1LXNlbmRvLTMkSyQAMAAz]]></FileKey>
</Response>
[import_user@localhost org_import]#
```

submit_wait.bat(sh)について
submit_wat.bat(sh)は実行したジョブが完了するまで画面には何も表示されません。
また、スクリプトの実行後、コマンドプロンプトを閉じたり、スクリプトの実行を中断するとジョブが実行されない場合があります。
従って、スクリプト実行後、ジョブの完了まで待機できる場合のみ利用してください。
例）夜間に submit_wait.sh を実行する仕組みを作成し、結果をログファイルに出力しておく　など

バッチ実行スクリプトのステータスコード

バッチ実行スクリプトを実行した際に、結果として表示される主なステータスコードです。

コード	説明
WAITING	待機中です。
CANCELED	ジョブを実行する前にキャンセルされました。
RUNNING	実行中です。
FINISHED	正常終了しました。
WARN	終了したが、警告があります。ログを確認してください。
ERROR	エラーが発生しました。ログを確認してください。
INTERRUPTED	ジョブの実行中に中断されました
FAIL	ジョブの実行に失敗しました。 AP とジョブマネージャーの起動状態を確認してください。

インポート結果の確認

実行状況・実行結果の確認は「組織関連インポートジョブの結果確認」を参照ください。

4.4. 組織関連インポートジョブを実行する際の注意点

インポート実行モード

インポートの実行モードには、本番実行とリハーサル実行の 2 種類のモードが存在します。

項目	説明
本番実行モード	インポートを実行し、入力チェックの上、データベースにデータ書込を行います。
リハーサル実行モード	インポート CSV データを読み込んで、入力チェックだけを行います。 入力チェック結果をログ出力し、データ書込は行ないません。 CSV データの検証等を行う場合に利用します。

> 注意事項
> 導入初期などの段階で、準備した CSV データの検証等を行なう場合は、必ずリハーサル実行をしてデータの妥当性について検証してください。

適用開始日・適用終了日について

履歴モードを有効にしていると、組織関連インポート CSV レイアウトに用意されている適用開始日・適用終了日という項目を利用することで、先付けの変更メンテナンスや、変更適用日を明示的に指定することが可能です。

履歴モードは AgileWorks を新規インストールした環境では無効に設定されています。
上記のデータに適用開始日・適用終了日を持たせて利用するには履歴モードを有効にする必要があります。
履歴モードの詳細は「履歴モードについて」参照ください。

▼履歴モードが無効な状態での日付の利用可否

データ	基準日	適用開始日	適用終了日
ユーザー	×	×	×
組織	×	×	×
組織所属	×	×	×
ユニバーサルロール所属	×	×	×
プライベートロール所属	×	×	×
代理承認権限	○	○	○
代理申請権限	○	○	○
権限委譲	○	○	○
引上げ権限	○	○	○

> 注意事項
> 履歴モードが無効な状態で、代理承認権限・代理申請権限・引上げ権限・権限委譲以外のデータをインポートする場合は、適用開始日・適用終了日を空白としてください。日付を指定してインポートすると、不正なデータが作成されてしまいます。

基準日について

インポート実行時には「基準日」を明示的に指定することができます。
「基準日」を指定すると、適用開始日を指定していないデータは、指定した「基準日」が適用開始日となります。

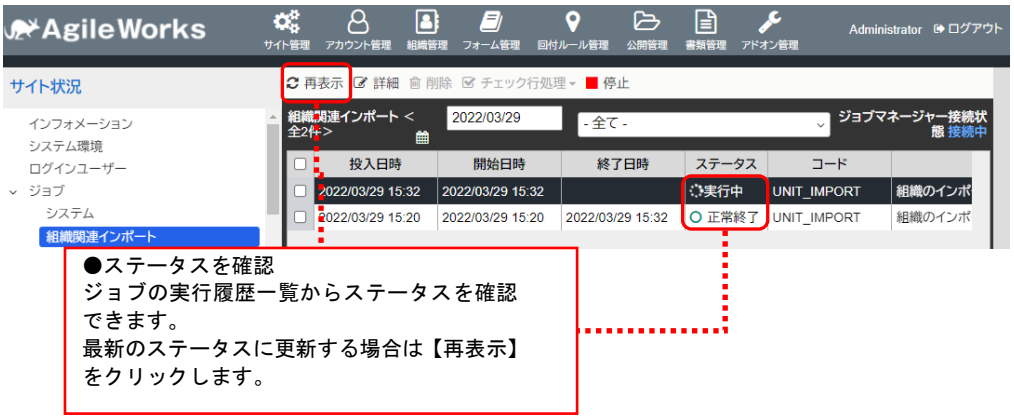
もし基準日を指定せずインポートした場合は、実行当日のシステム日付が基準日に自動的に設定されます。

5. 組織関連インポートジョブの結果確認

5.1. ステータスの確認

組織関連インポートジョブの履歴一覧から実行したジョブのステータスを確認することができます。

▼ステータスの確認（管理サイト【サイト管理】→【サイト状況】→【ジョブ】→【組織関連インポート】）



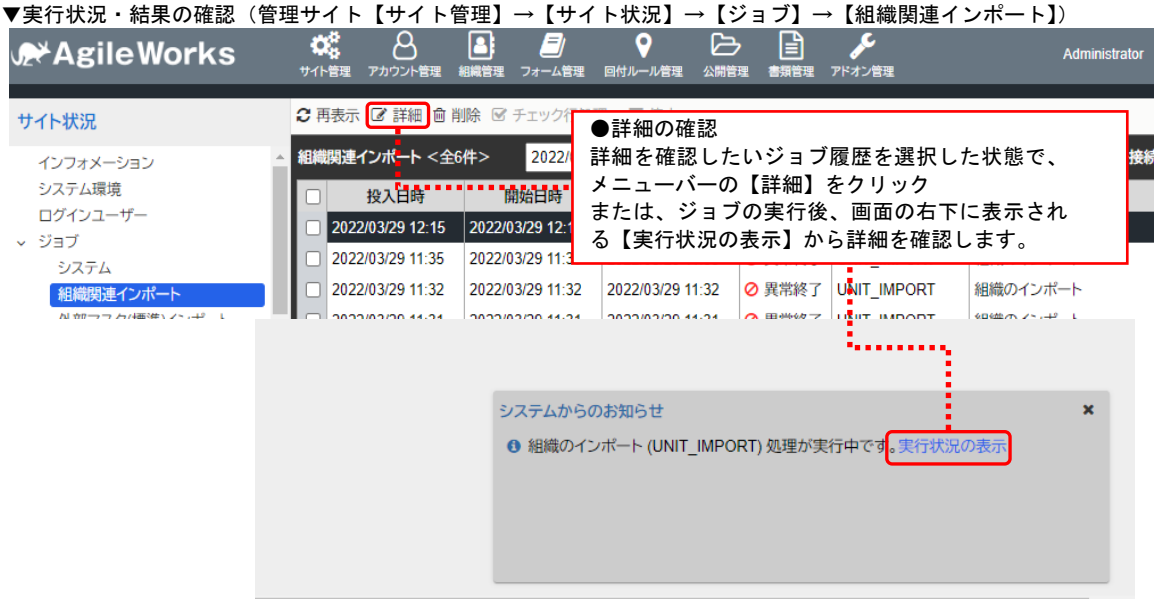
ジョブのステータス

ステータス	説明
実行中	インポートジョブの実行中です。 実際に処理されている、又は前のジョブの完了を待機している状態です。
正常終了	インポートジョブは正常に終了しました。
異常終了	インポートジョブにエラーが発生しました。 【詳細】から状況を確認してください。
中断	何らかの原因でジョブが中断された状態です。 【詳細】から状況を確認してください。

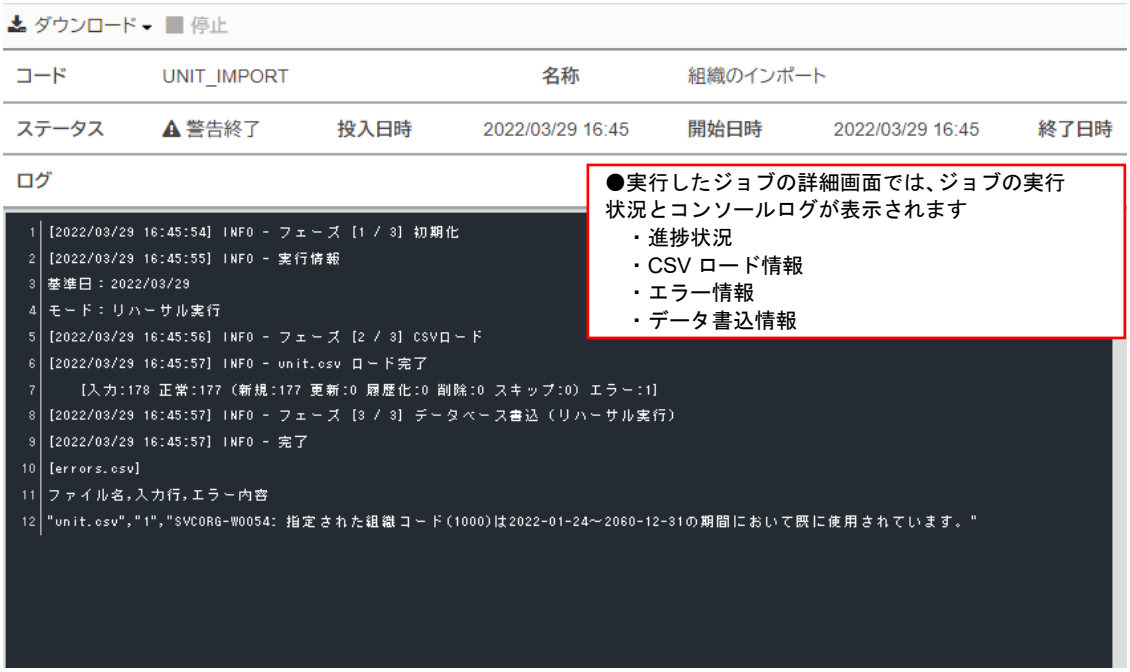
5.2. 実行状況・実行結果の詳細確認

組織関連インポートジョブの実行状況・実行結果の詳細は以下のどちらかから確認します。
・管理サイト【サイト管理】→【サイト状況】→【ジョブ】→【組織関連インポート】
・実行後に表示される【システムからのお知らせ】→【実行状況の表示】

▼実行状況・結果の確認（管理サイト【サイト管理】→【サイト状況】→【ジョブ】→【組織関連インポート】）



▼詳細の確認



ジョブの処理順序について
組織関連インポートジョブは実行された順番に処理されます。
既にジョブが実行されている状態で別のジョブを実行した場合、先のジョブの終了後、後続のジョブを処理します。
並列処理は行いません。

5.3. インポート実行ログ

ジョブから組織関連インポートを実行すると、管理サイトのジョブ実行履歴からインポート結果のログファイル一式をダウンロードできます。

▼ 実行ログ一覧

ログ種類	ファイル名	説明
サマリログ	summary.csv	インポート件数のサマリ表を出力します。 CSV ファイル別に以下のような件数サマリが確認できます。 ・入力件数 ・成功件数 ・エラー件数 ・新規登録件数 ・更新件数 ・履歴化件数 ・適用終了件数 ・削除件数 ・スキップ件数 （既存データに一致するデータはスキップされます）
変更プルーフログ	modifies.csv	インポートした CSV ファイルの各データレコードごとの変更区分、変更概要の一覧を出力します。 ※リハーサル実行で全件モードの場合は、適用終了の変更プルーフは出力されません。
エラーログ	erros.csv	エラーが存在する場合は、エラー該当レコードとエラー内容を出力します。

ヒント
インポート実行ログをダウンロードすると、上記ログファイルに加えて、インポート時に利用した CSV データも含まれています。

6. インポートファイルの項目レイアウト

各 CSV ファイルの項目レイアウト（レコードフォーマット）について説明します。
ここで示す項目レイアウトは、AgileWorks 管理サイト【サイト管理】→【サイト共通設定】から項目順序の並び替えや削除、ダミー項目追加が可能です。

項目レイアウトの「属性」欄の表記について

■ カッコ内の数字は、桁数（バイト数ではなく、文字数）を表します。
■ カッコ前の文字列は、使用できる文字を表します。

データ型の表記	使用できる文字
数値	0〜9 までの数値
半角英数	A〜Z までの半角英大文字、a〜z までの半角英小文字、0〜9 までの数値、記号は-(ハイフン)、_(アンダースコア)のみ
半角文字	半角英数文字、ASCII : 0x20 ～ 0x7E を許可
日付	（※）日付書式は「ジョブ設定」で、yyyyMMdd または yyyy/MM/dd または yyyy-MM-dd 書式の日付文字列を指定可能 許可する日付は、1970/04/01〜2060/03/31 までの有効な日付のみ。 ▼例：日付書式を「yyyyMMdd」に設定した場合、2010 年 4 月 1 日は 〇20100401 ×2010/04/01 ×2010-04-01 ×201041 ×2010 年 04 月 01 日 ×2010 年 4 月 1 日
ユーザーコード	#以外の半角文字
パスワード	半角英数文字、ASCII : 0x20 ～ 0x7E を許可。 ただし先頭文字についてはアルファベット、数字のみ指定可能。
ログイン ID	先頭文字が、A〜Z までの半角英大文字、a〜z までの半角英小文字、0〜9 までの数値で開始しており（記号は不可）、その他の文字が「半角文字」であること。
メールアドレス	メールアドレス形式として、[半角英数 または .（ドット）または +（プラス）または -（ハイフン）または _（アンダースコア）]@[[半角英数 または .（ドット）または -（ハイフン）または _（アンダースコア）]の形式
文字	全角文字、半角英数ｶﾅ、数値、記号を受け付けます。 AgileWorks のデータベースは文字コードが UTF-8 なので、「ジョブ設定」でファイルの文字コードを「UTF-8」としている場合は、UTF-8 として認識できる全文字列を受け取ることができます。 「ジョブ設定」でファイルの文字コードを「MS932(Shift_JIS 拡張)」を指定した場合は「MS932(Shift_JIS 拡張)」で利用可能な範囲の文字列のみ受け取ることができます。

6.1. ユーザー

ユーザー情報をインポートする為の CSV ファイルです。

【引当キー項目】
・　インポートコード

【取込ルール】
・　引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
・　引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。

【ユニーク（一意）チェック】
以下の項目はユニーク（一意）である必要があります。
・　インポートコード
・　表示コード
・　ログイン ID

▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	適用開始日	○		日付	履歴モードが有効な場合に利用する項目 空白を指定してください。	
3	適用終了日			日付		
4	インポートコード	○	○	ユーザーコード(255)		－
5	変更後インポートコード			ユーザーコード(255)	登録済みのインポートコードを変更する場合に指定	更新しない
6	表示コード			ユーザーコード(255)		＜レイアウト未指定＞ ＜新規＞ インポートコードが設定される ＜更新＞ 更新されない ＜空白指定＞ インポートコードが設定される
7	ログイン ID		○	ログイン ID(255)		－
8	パスワード			パスワード(255)	パスワードを変更しない場合は、* (アスタリスク) を指定する	＜新規＞ パスワードが未設定となり、パスワード認証によるログインができなくなります ＜更新＞ * (アスタリスク) 指定時と同様の処理となる
9	ユーザー名称		○	文字(255)		－
10	カナ			文字(255)	全角カタカナのみ指定可能	＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる
11	印影上の表示名称			文字(255)		ユーザー名称が設定される
12	メールアドレス			メールアドレス(255)		＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる
13	アカウントロック			数値(1)	0: アカウントロックを解除する 1: アカウントロックする	更新しない

14	備考			文字(1000)		＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる
15-24	拡張項目 1-10			文字(255)		＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる
25-34	拡張項目 11-20			文字(1000)		＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる

▼追加可能な項目

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	ローカル名称			文字(255)	R2.2 追加項目	＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる
2	ローカル名称の言語					更新しない
3	表示言語			文字(255)	R2.2 追加項目	＜新規＞ 既定の言語が設定される ＜更新＞ 更新しない
4	印影画像パス			文字(255)	R2.2 追加項目 zip ファイル内の画像ファイルを指定する	更新しない
5	パスワード変更要求			数値(1)	R2.2 追加項目 0: 変更を要求しない 1: 変更を要求する	更新しない

<<補足仕様>> 印影画像パスの指定について
印影画像のパスはインポートする zip ファイル内の相対パスで指定します。

例 1）画像ファイルが csv と同じ階層に存在する場合
【インポートする zip ファイルの構成】
user.csv
user001.jpg
【指定するパス】
user001.jpg

例 2）画像ファイル用のフォルダにまとめてある場合
【インポートする zip ファイルの構成】
user.csv
image/user001.jpg
image/user002.jpg
【指定するパス】
image/user001.jpg

6.2. 組織

組織情報をインポートする為の CSV ファイルです。

【引当キー項目】
・ インポートコード
【取込ルール】
・ 引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
・ 引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。

【ユニーク（一意）チェック】
・ インポートコード
・ 表示コード
▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	適用開始日	○		日付	履歴モードが有効な場合に利用する項目 空白を指定してください。	
3	適用終了日			日付		
4	インポートコード	○	○	半角英数(255)		ー
5	変更後インポートコード			半角英数(255)	登録済みのインポートコードを変更する場合に指定	ー
6	表示コード			半角英数(255)		＜レイアウト未指定＞ ＜新規＞ インポートコードが設定される ＜更新＞ 更新されない ＜空白指定＞ インポートコードが設定される
7	正式名称		○	文字(255)		ー
8	表示上の略称			文字(255)		正式名称が設定される
9	親インポートコード			半角英数(255)		更新しない
10	表示順序				下位バージョン互換用の項目 ※組織の表示順序は「表示コード」順となります	更新しない
11	備考			文字(1000)		＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる
12-21	拡張項目 1-10			文字(255)		＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる
22-31	拡張項目 11-20			文字(1000)		＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる

▼追加可能な項目

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	ローカル表示名称			文字(255)	R2.2 追加項目	＜レイアウト未指定＞ 更

						新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる
2	言 語			文字(255)	R2.2 追加項目	＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる

6.3. セクションロールグループ

セクションロールグループ情報をインポートする為の CSV ファイルです。

【引当キー項目】
・　インポートコード

【取込ルール】
・　引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
・　引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。

【ユニーク（一意）チェック】
以下の項目はユニーク（一意）である必要があります。
・　インポートコード

▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	コード	○	○	半角英数 (255)		－
3	変更後コード			半角英数 (255)	登録済みのコードを変更する場合に指定	更新しない
4	名称		○	文字(255)		－
5	表示順序			数値(9)		更新しない
6	備考			文字(1000)		＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる

6.4. セクションロール

セクションロール情報をインポートする為の CSV ファイルです。

【引当キー項目】
・　インポートコード

【取込ルール】
・　引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
・　引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。

【ユニーク（一意）チェック】
以下の項目はユニーク（一意）である必要があります。
・　インポートコード
・　表示コード

▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	インポートコード	○	○	半角英数 (255)		－
3	変更後インポートコード			半角英数 (255)	登録済みのインポートコードを変更する場合に指定	更新しない
4	表示コード			半角英数 (255)		＜レイアウト未指定＞ ＜新規＞ インポートコードが設定される ＜更新＞ 更新されない ＜空白指定＞ インポートコードが設定される
5	名称		○	文字(255)		－
6	ランク			数値(9)		＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる
7	備考			文字(1000)		＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる
8	ロールフォルダコード			半角英数 (255)		ａ.インポートコードで指定したロールが存在する場合 更新しない ｂ.ａ以外の場合 ルート直下にロールを新規作成する。

<<補足仕様>> ランク属性の影響範囲について
セクションロールの「ランク」属性は、以下のシーンで利用されます。

1. 組織内の所属ユーザー並び順
   管理サイトやドキュメントビューア[処理者選択]画面等における組織内の所属ユーザーは、以下の並び順序となります。
   ・「セクションロールのランク」昇順
   ※ 並び順序を考慮して、上位に表示したいロールを小さい数値に設定してください。

2. 回付ルールのステップ設定「下位ランクスキップ」
   別紙「Aw06-回付ルール設計・設定.pdf」の[回付ルール設定「スキップ条件」]章を参照

3. 回付ルールの条件分岐設定

セクションロールによる条件分岐を行う時の比較条件に利用されます。
別紙「Aw06-回付ルール設計・設定.pdf」の[フォーム設定「条件分岐」]章を参照

6.5. セクションロールグループ所属

セクションロールグループ内のセクションロール所属をインポートする為の CSV ファイルです。

【引当キー項目】
- セクションロールグループコード
- セクションロールインポートコード

【取込ルール】
- 全ての引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
- 引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。

▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	セクションロールグループコード	○	○	半角英数(255)	存在するセクションロールグループを指定する必要があります。	ー
3	セクションロールインポートコード	○	○	半角英数(255)	存在するセクションロールを指定する必要があります。	ー

6.6. 組織所属ユーザー

組織内の所属ユーザーをインポートする為の CSV ファイルです。

【引当キー項目】
- 組織インポートコード
- ユーザーインポートコード

【取込ルール】
- 全ての引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
- 全ての引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。

▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	適用開始日	○		日付	履歴モードが有効な場合に利用する項目 空白を指定してください。	
3	適用終了日			日付		
4	組織インポートコード	○	○	半角英数(255)		－
5	ユーザーインポートコード	○	○	ユーザーコード(255)		－
6	セクションロールインポートコード			半角英数(255)	存在するセクションロールを指定する必要があります。	＜レイアウト未指定＞ データがクリアされる ＜空白指定＞ データがクリアされる
7	ユーザーの所属組織表示順序			数値(4)	ユーザーから見た組織表示順序を指定します。 一番上の組織が主務となります。 主務の所属には、1 兼務の所属には、2 以降の連番 を入れてください。	更新しない

<<補足仕様>> ユーザーの所属組織表示順序について
- 受入可能な値は 1～9999 までの数値となります。
- 主務組織のレコードに 1、兼務所属のレコードには 2 以降の連番を指定してください。
- 連番でなくても受入は可能ですが、その場合、画面から見た表示順序が不確定となります。

6.7. ユニバーサルロール

ユニバーサルロール情報をインポートする為の CSV ファイルです。

【引当キー項目】
・　インポートコード

【取込ルール】
・　引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
・　引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。

【ユニーク（一意）チェック】
以下の項目はユニーク（一意）である必要があります。
・　インポートコード
・　表示コード

▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	インポートコード	○	○	半角英数 (255)		－
3	変更後インポートコード			半角英数 (255)		登録済みのインポートコードを変更する場合に指定
4	表示コード			半角英数 (255)		＜レイアウト未指定＞ ＜新規＞ インポートコードが設定される ＜更新＞ 更新されない ＜空白指定＞ インポートコードが設定される
5	名称		○	文字(255)		－
6	ランク			数値(9)	使用されません	＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる
7	備考			文字(1000)		＜レイアウト未指定＞ 更新しない ＜空白指定＞ データがクリアされる
8	ロールフォルダコード			半角英数 (255)		ａ.インポートコードで指定したロールが存在する場合 更新しない ｂ.ａ以外の場合 ルート直下にロールを新規作成する。

6.8. ユニバーサルロール所属ユーザー

ユニバーサルロール内の所属ユーザーをインポートする為の CSV ファイルです。

【引当キー項目】
- ユニバーサルロールインポートコード
- ユーザーインポートコード

【取込ルール】
- 全ての引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
- 引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。

▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	適用開始日	○		日付	履歴モードが有効な場合に利用する項目 空白を指定してください。	
3	適用終了日			日付		
4	ユニバーサルロールインポートコード	○	○	半角英数(255)	存在するユニバーサルロールを指定する必要があります。	ー
5	ユーザーインポートコード	○	○	ユーザーコード(255)		ー

6.9. プライベートロール所属ユーザー

プライベートロール内の所属ユーザーをインポートする為の CSV ファイルです。

【引当キー項目】
- プライベートロールインポートコード
- ユーザーインポートコード
- 対象ユーザーインポートコード

【取込ルール】
- 全ての引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
- 引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。

▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	適用開始日	○		日付		インポートの「基準日」を適用開始日とする
3	適用終了日			日付		無期限とする
4	プライベートロールインポートコード	○	○	半角英数(255)	存在するプライベートロールを指定する必要があります。	ー
5	ユーザーインポートコード	○	○	ユーザーコード(255)		ー
6	対象ユーザーインポートコード	○	○	ユーザーコード(255)		ー

6.10. 組織移管

組織改編時の組織新旧マッピング情報をインポートするための CSV ファイルです。

組織移管データのインポートは履歴モードが有効な場合でないと利用できません。
履歴モードは、AgileWorks のインストール直後は無効に設定されています。

履歴モードの詳細は「履歴モードについて」を参照ください。

クラウド環境での利用について
クラウド環境では履歴モードが有効な場合でも、任意に書類移管ジョブを実行することはできません。
任意に書類移管を行いたい場合は、画面からの書類移管を実施してください。
詳細は「Aw01-主要機能ダイジェスト」を参照してください。

6.11. 代理申請設定

代理申請者設定をインポートするための CSV ファイルです。

【引当キー項目】
- 対象組織インポートコード
- 被代理ユーザーインポートコード
- 代理ユーザーインポートコード
- 適用開始日

【取込ルール】
- 引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
- 引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。
- インポート結果の”新規/更新/削除”の件数は”被代理者”と”代理者”毎にカウントされます。
  （1 回のインポート処理にて”被代理者”と”代理者”が重複した場合、該当のデータは”更新”としてカウントされます）

▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	適用開始日	○		日付		インポートの「基準日」を適用開始日とする
3	適用終了日			日付		無期限とする
4	対象組織インポートコード	○		半角英数(255)	＊(全角アスタリスク) *(半角アスタリスク) を指定すると全てが対象となります。	※ 空白指定のみ可 *(半角アスタリスク)指定時と同様の処理となる
5	被代理ユーザーインポートコード	○	○	ユーザーコード(255)		―
6	代理ユーザーインポートコード	○	○	ユーザーコード(255)		―
7	対象フォームコード			半角英数(255)	＊(全角アスタリスク) *(半角アスタリスク) を指定すると全てが対象となります。 複数指定する場合は半角スペースで区切ります。	*(半角アスタリスク)指定時と同様の処理となる
8	対象回付ルールコード			半角英数(255)	＊(全角アスタリスク) *(半角アスタリスク) を指定すると全てが対象となります。 複数指定する場合は半角スペースで区切ります。	*(半角アスタリスク)指定時と同様の処理となる
9	書類作成画面の表示			数値(1)	1: 表示する	更新しない
10	表示順序			数値(1)		更新しない

6.12. 代理承認設定

代理承認者設定をインポートするための CSV ファイルです。

【引当キー項目】
- 対象組織インポートコード
- 被代理ユーザーインポートコード
- 代理ユーザーインポートコード
- 適用開始日

【取込ルール】
- 引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
- 引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。
- インポート結果の”新規/更新/削除”の件数は”被代理者”と”代理者”毎にカウントされます。
  （1 回のインポート処理にて”被代理者”と”代理者”が重複した場合、該当のデータは”更新”としてカウントされます）

▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	適用開始日	○		日付		インポートの「基準日」を適用開始日とする
3	適用終了日			日付		無期限とする
4	対象組織インポートコード	○		半角英数(255)	＊ (全角アスタリスク) * (半角アスタリスク) を指定すると全てが対象となります。	※ 空白指定のみ可 * (半角アスタリスク) 指定時と同様の処理となる
5	被代理ユーザーインポートコード	○	○	ユーザーコード(255)		ー
6	代理ユーザーインポートコード	○	○	ユーザーコード(255)		ー
7	対象フォームコード			半角英数(255)	＊ (全角アスタリスク) * (半角アスタリスク) を指定すると全てが対象となります。 複数指定する場合は半角スペースで区切ります。	* (半角アスタリスク) 指定時と同様の処理となる
8	申請権限			数値(1)	下位バージョン互換用の項目	ー
9	承認権限			数値(1)	1: 承認権限有り	更新しない
10	閲覧権限			数値(1)	下位バージョン互換用の項目	ー
11	対象回付ルールコード			半角英数(255)	＊ (全角アスタリスク) * (半角アスタリスク) を指定すると全てが対象となります。 複数指定する場合は半角スペースで区切ります。	* (半角アスタリスク) 指定時と同様の処理となる
12	代理承認依頼通知			数値(1)	1: 代理承認依頼を通知する	更新しない
13	処理待ち画面の表示			数値(1)	1: 表示する	更新しない
14	表示順序			数値(1)		更新しない

6.13. 権限委譲設定

権限委譲設定をインポートするための CSV ファイルです。

【引当キー項目】
- 対象組織インポートコード
- 委譲元ユーザーインポートコード
- 委譲先ユーザーインポートコード
- 適用開始日

【取込ルール】
- 引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
- 引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。

▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	適用開始日	○		日付		インポートの「基準日」を適用開始日とする
3	適用終了日			日付		無期限とする
4	対象組織インポートコード	○		半角英数(255)	＊(全角アスタリスク) *(半角アスタリスク) を指定すると全てが対象となります。	※ 空白指定のみ可 *(半角アスタリスク)指定時と同様の処理となる
5	委譲元ユーザーインポートコード	○	○	ユーザーコード(255)		－
6	委譲先ユーザーインポートコード	○	○	ユーザーコード(255)		－
7	対象フォームコード			半角英数(255)	＊(全角アスタリスク) *(半角アスタリスク) を指定すると全てが対象となります。 複数指定する場合は半角スペースで区切ります。	*(半角アスタリスク)指定時と同様の処理となる
8	対象回付ルールコード			半角英数(255)	＊(全角アスタリスク) *(半角アスタリスク) を指定すると全てが対象となります。 複数指定する場合は半角スペースで区切ります。	*(半角アスタリスク)指定時と同様の処理となる
9	委譲後の処理組織ポリシー			数値(1)	1: 対象者の所属組織を適用 2: 委譲ユーザーの主務組織を適用 3: 未指定	＜新規＞ 1: 対象者の所属組織を適用 ＜更新＞ 更新しない

6.14. 引上げ権限設定

引上げ設定をインポートするための CSV ファイルです。

【引当キー項目】
- ユーザーインポートコード
- 適用開始日

【取込ルール】
- 引当キー項目に一致したデータが存在する場合、上書き更新します。
- 引当キー項目に一致したデータが存在しない場合、新規登録します。

▼項目レイアウト（初期状態）

NO	項目名	引当キー	必須	属性	項目説明	レイアウト未指定 または空白指定
1	削除フラグ			数値(1)	1: 削除	更新しない
2	適用開始日	○		日付		インポートの「基準日」を適用開始日とする
3	適用終了日			日付		無期限とする
4	ユーザーインポートコード	○	○	ユーザーコード(255)		－
5	対象フォームコード			半角英数(255)	＊ (全角アスタリスク) * (半角アスタリスク) を指定すると全てが対象となります。 複数指定する場合は半角スペースで区切ります。	* (半角アスタリスク) 指定時と同様の処理となる
6	対象回付ルールコード			半角英数(255)	＊ (全角アスタリスク) * (半角アスタリスク) を指定すると全てが対象となります。 複数指定する場合は半角スペースで区切ります。	* (半角アスタリスク) 指定時と同様の処理となる

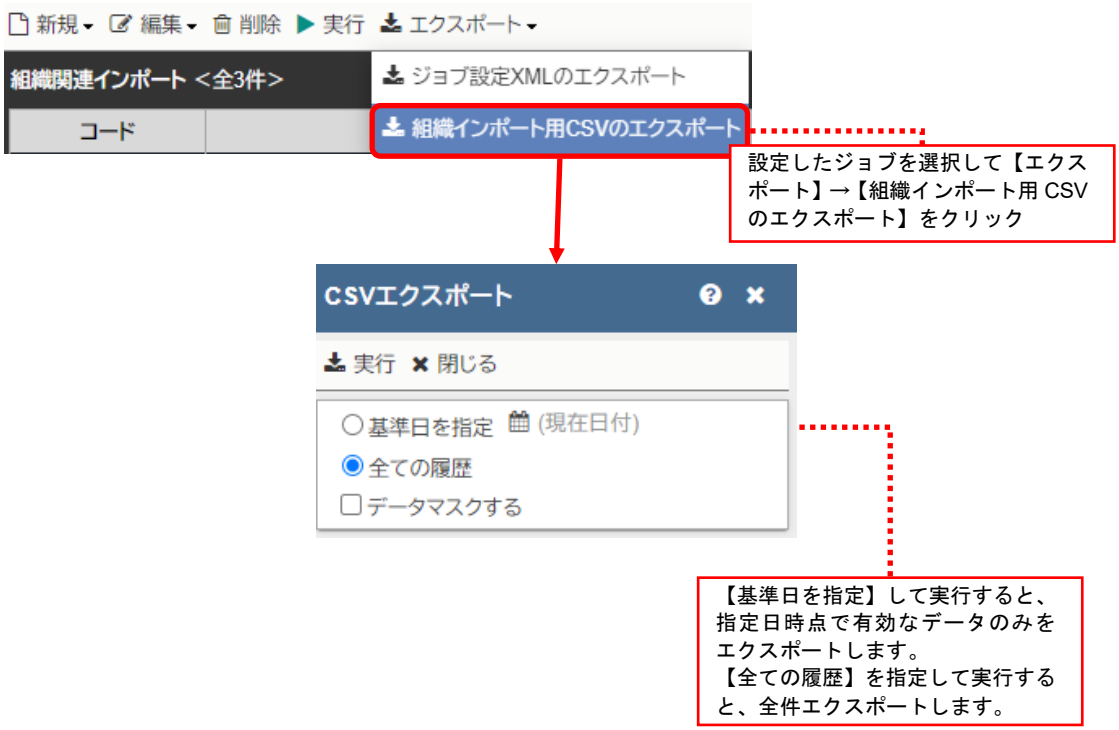
7. CSVデータ作成のヒント

この章では CSV データ作成に関するヒントを説明します。

7.1. エクスポートから CSV 作成

設定したインポートジョブの CSV ファイルをエクスポートすると、既存データをエクスポートすることができます。
CSV データレイアウト形式を確認するには、エクスポート機能を利用するのが便利です。

▼ エクスポート画面（管理サイト【サイト管理】→【サイト共通設定】→【ジョブ】）



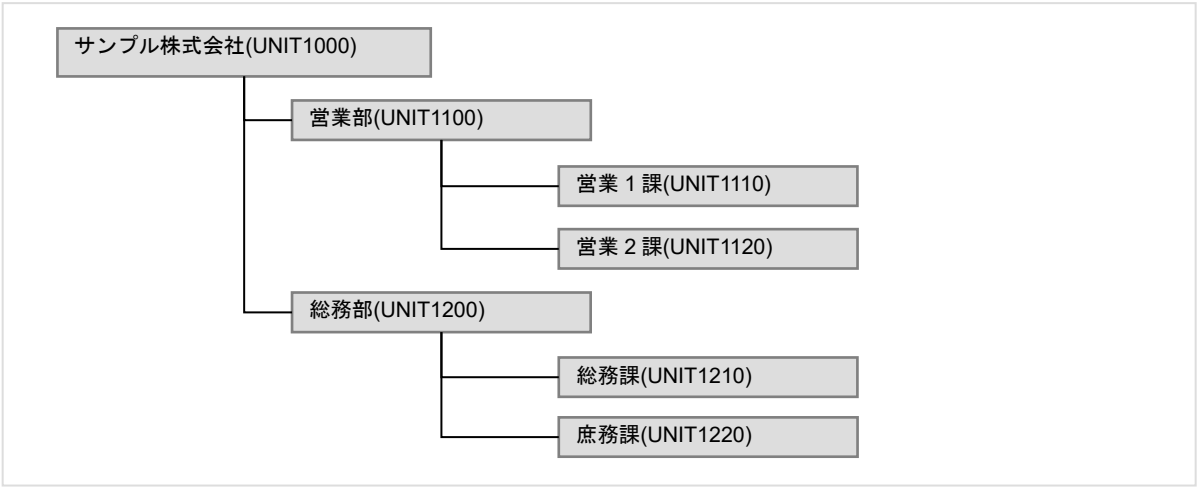
7.2. CSV サンプル（組織）

この章では、組織 CSV データ例について、サンプルを用いて説明します。
サンプルで示す CSV レイアウトでは「表示コード」「略称」「備考」「拡張項目」などいくつかの項目は省略し、代表的な項目のみで説明しています。

初期投入の例

▼ 初期投入する組織例

・ カッコ内は組織コードを表します。



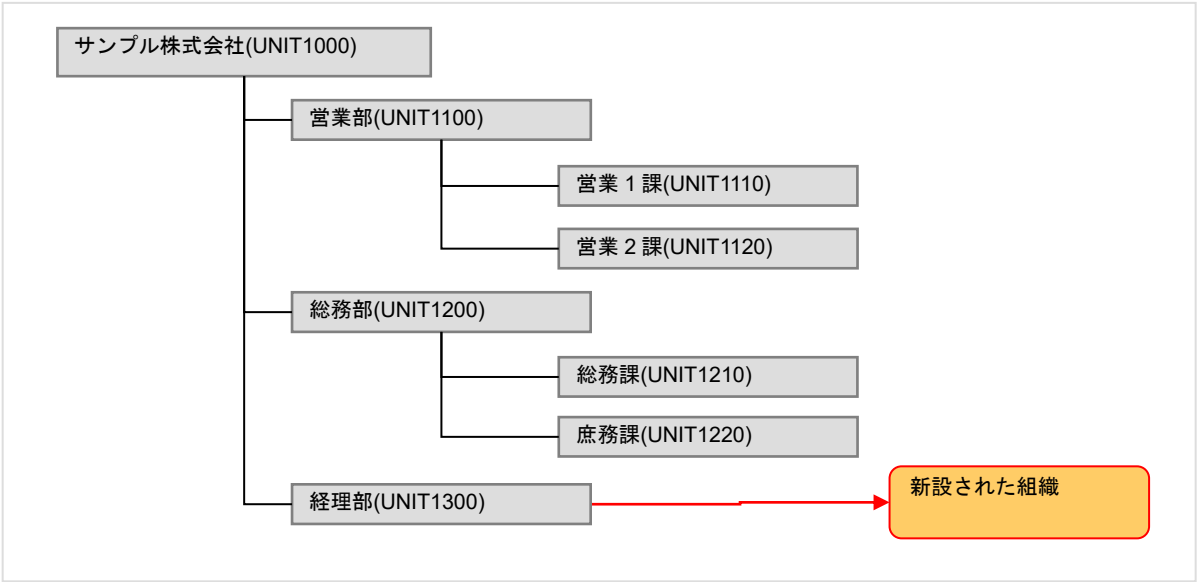
【CSV データ例】

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	コード	変更後 コード	正式名称	親コード
			UNIT1000		サンプル株式会社	
			UNIT1100		営業部	UNIT1000
			UNIT1200		総務部	UNIT1000
			UNIT1110		営業 1 課	UNIT1100
			UNIT1120		営業 2 課	UNIT1100
			UNIT1210		総務課	UNIT1200
			UNIT1220		庶務課	UNIT1200

組織新設の例

▼説明

・　下記例は、「経理部(UNIT1300)」が新設される例です。
・　差分取込の場合、新設する組織データのみの CSV を用意します。変更する必要が無い既存組織データは不要です。
・　全件取込の場合、変更する必要が無い既存組織データに、新設する組織データを加えた全件 CSV を用意します。



【CSV データ例】

▼ 全件取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	コード	変更後 コード	正式名称	親コード
			UNIT1000		サンプル株式会社	
			UNIT1100		営業部	UNIT1000
			UNIT1200		総務部	UNIT1000
			UNIT1110		営業 1 課	UNIT1100
			UNIT1120		営業 2 課	UNIT1100
			UNIT1210		総務課	UNIT1200
			UNIT1220		庶務課	UNIT1200
			UNIT1300		**経理部**	**UNIT1000**

▼ 差分取込の場合

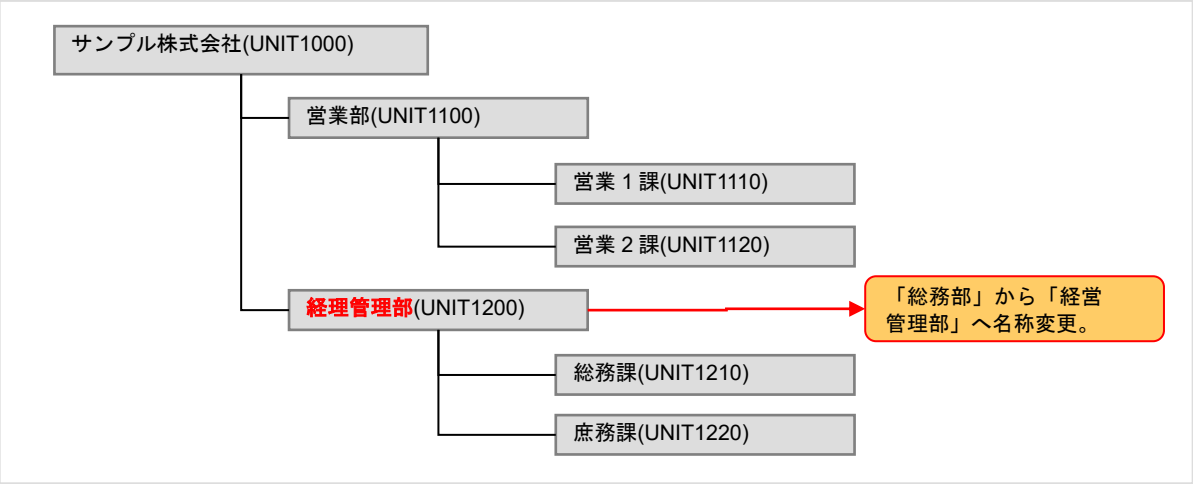
削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	コード	変更後 コード	正式名称	親コード
			UNIT1300		**経理部**	**UNIT1000**

補足
ここで説明した例は、組織名称変更に限らず、拡張項目変更などの組織属性変更時も同じ方法となります。
但し、コードはインポート上の引当キーとなる為、コードを変更する場合は「コード変更の例」の章を参考にして CSV データを用意ください。

組織名称変更の例

▼説明

・　下記例は、「総務部(UNIT1200)」が「経理管理部(UNIT1200)」に名称変更される例です。
・　差分取込の場合、変更する組織データの CSV を用意します。変更する必要が無い既存組織データは不要です。
・　全件取込の場合、既存組織データを含めた全件 CSV を用意します。



【CSV データ例】

▼ 全件取込の場合

削除フラグ	適用開始日	適用終了日	コード	変更後コード	正式名称	親コード
			UNIT1000		サンプル株式会社	
			UNIT1100		営業部	UNIT1000
			UNIT1200		**経理管理部**	UNIT1000
			UNIT1110		営業 1 課	UNIT1100
			UNIT1120		営業 2 課	UNIT1100
			UNIT1210		総務課	UNIT1200
			UNIT1220		庶務課	UNIT1200

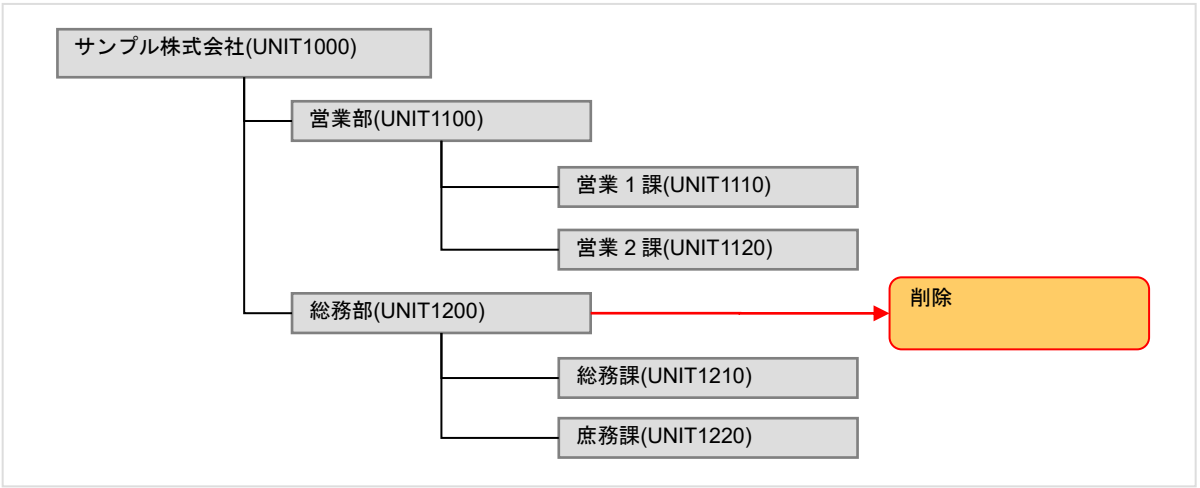
▼ 差分取込の場合

削除フラグ	適用開始日	適用終了日	コード	変更後コード	正式名称	親コード
			UNIT1200		**経理管理部**	UNIT1000

削除の例

▼説明

・　差分取込の場合、削除フラグに値をセットしたレコードを用意します。
・　全件取込の場合、CSV ファイルに存在しない組織は削除となります。
・　ある組織を削除すると、配下の組織やその組織の所属ユーザーも削除されます。（配下組織の削除レコードは用意しても、しなくても構いません）



【CSV データ例】

▼ 全件取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	コード	変更後 コード	正式名称	親コード
			UNIT1000		サンプル株式会社	
			UNIT1100		営業部	UNIT1000
			UNIT1110		営業 1 課	UNIT1100
			UNIT1120		営業 2 課	UNIT1100

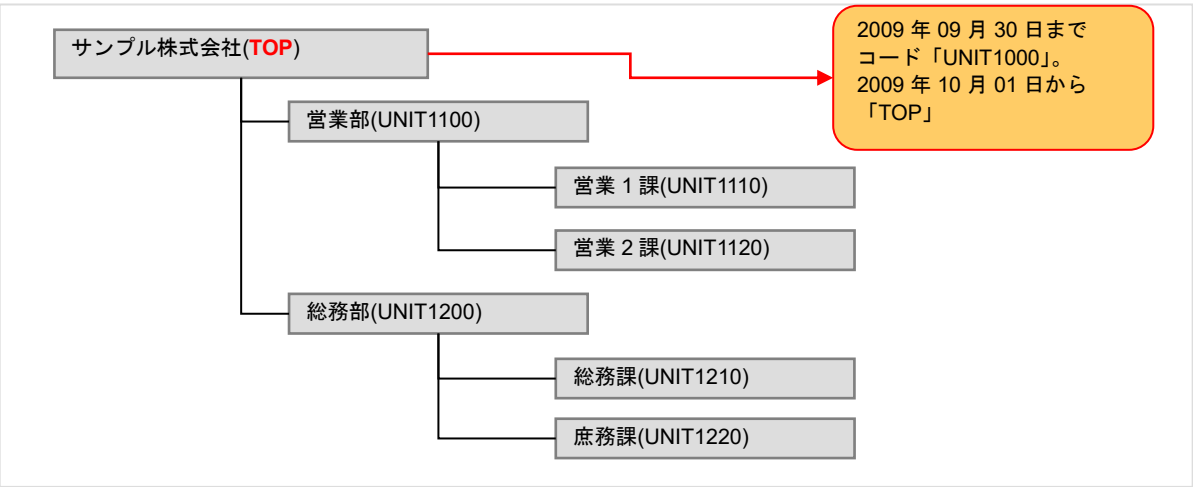
▼ 差分取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	コード	変更後 コード	正式名称	親コード
1			UNIT1200		**総務部**	UNIT1000

コード変更の例

▼説明

- 下記例は、「サンプル株式会社」のコード「UNIT1000」が「TOP」に 2009 年 10 月 01 日にコード変更される例です。
- 差分取込の場合、変更する組織データの CSV を用意します。変更する必要が無い既存組織データは不要です。
- 全件取込の場合、既存組織データを含めた全件 CSV を用意します。



【CSV データ例】

▼ 全件取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	コード	変更後 コード	正式名称	親コード
			UNIT1000	**TOP**	サンプル株式会社	
			UNIT1100		営業部	UNIT1000
			UNIT1200		経理管理部	UNIT1000
			UNIT1110		営業 1 課	UNIT1100
			UNIT1120		営業 2 課	UNIT1100
			UNIT1210		総務課	UNIT1200
			UNIT1220		庶務課	UNIT1200

親組織のコード変更について
親組織のコード変更が反映されるのはインポート処理後のため
子組織の親コードは、変更前のコードで取り込む必要があります。
→ 上記例では"UNIT1000"

▼ 差分取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	コード	変更後 コード	正式名称	親コード
			UNIT1000	**TOP**	サンプル株式会社	

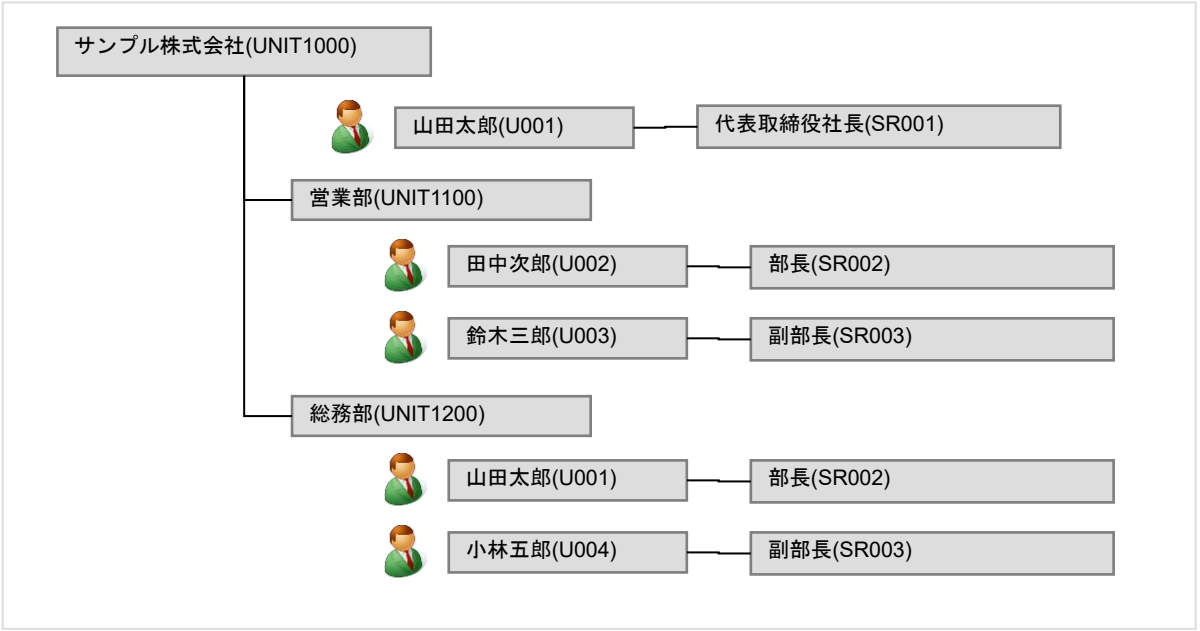
7.3. CSV サンプル（組織所属ユーザー）

この章では、組織所属ユーザーの CSV データ例について、サンプルを用いて説明します。

初期投入の例

▼ 初期投入する組織例

・　カッコ内はコードを表します。
・　「山田太郎(U001)」は、サンプル株式会社の代表取締役社長と、総務部の部長を兼務していることとします。



【CSV データ例】

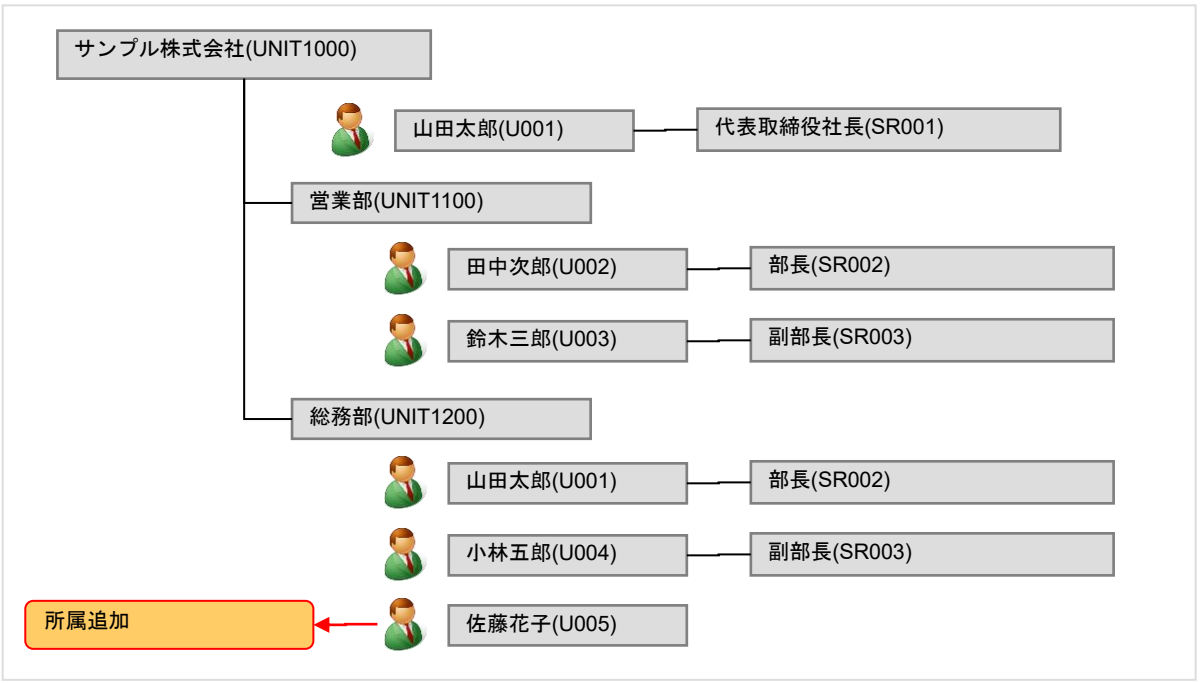
削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	組織 コード	ユーザー コード	セクションロール コード	ユーザーの 所属組織 表示順序
			UNIT1000	U001	SR001	1
			UNIT1100	U002	SR002	1
			UNIT1100	U003	SR003	1
			UNIT1200	U001	SR002	2
			UNIT1200	U004	SR003	1

兼務ユーザーのデータについて
兼務ユーザーの場合、所属する組織数分の CSV レコードを用意します。
上の例では、「山田太郎(U001)」のレコードが 2 行含まれており、
・「サンプル株式会社(UNIT1000)」が主務の為、「ユーザーの所属組織表示順序」には”1”
・「総務部(UNIT1200)」の「ユーザーの所属組織表示順序」には”2”
のデータを用意しています。

所属ユーザー追加の例

▼ 説明

・　下記例は、「総務部(UNIT1200)」に「佐藤花子(U005)」がロール無しで所属追加となる例です。
・　差分取込の場合、追加する所属データのみの CSV を用意します。
・　全件取込の場合、全件の所属 CSV を用意します。



【CSV データ例】

▼ 全件取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	組織 コード	ユーザー コード	セクションロール コード	ユーザーの 所属組織 表示順序
			UNIT1000	U001	SR001	1
			UNIT1100	U002	SR002	1
			UNIT1100	U003	SR003	1
			UNIT1200	U001	SR002	2
			UNIT1200	U004	SR003	1
			UNIT1200	U005		1

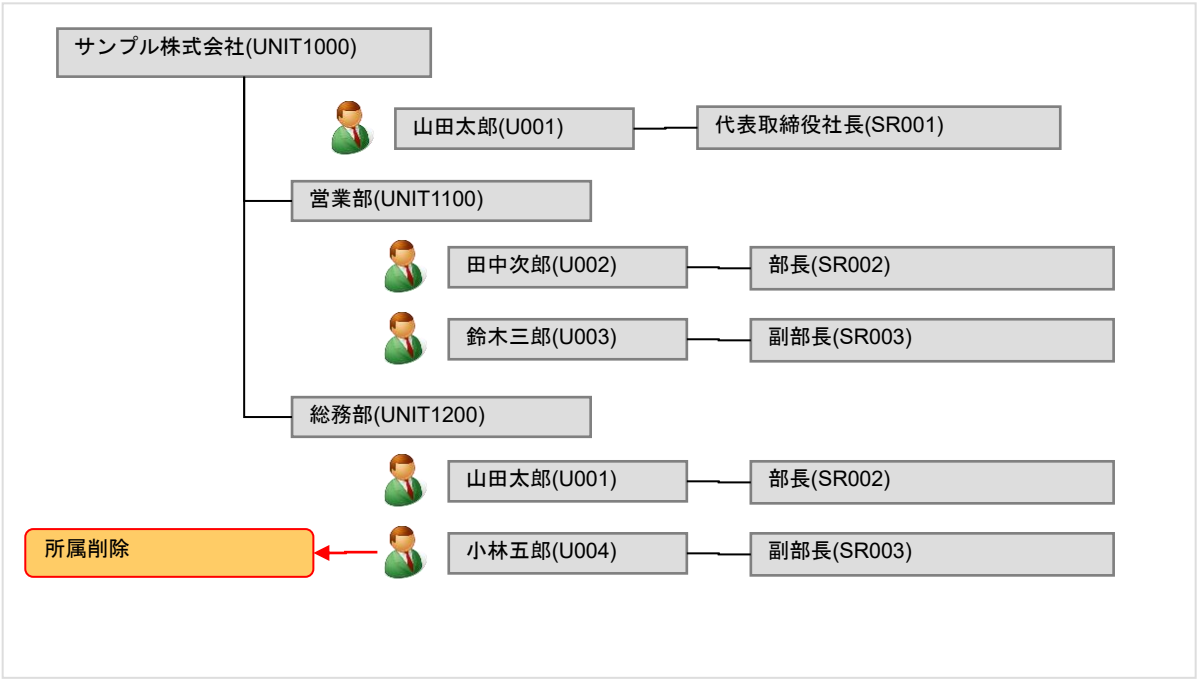
▼ 差分取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	組織 コード	ユーザー コード	セクションロール コード	ユーザーの 所属組織 表示順序
			UNIT1200	U005		1

所属ユーザー削除の例

▼ 説明

・　下記例は、「小林五郎(U004)」が「総務部(UNIT1200)」から外れる例です。
・　差分取込の場合、削除する所属データのみの CSV を用意します。
・　全件取込の場合、全件の所属 CSV を用意します。（削除する所属を外した全件 CSV）



【CSV データ例】

▼ 全件取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	組織 コード	ユーザー コード	セクションロール コード	ユーザーの 所属組織 表示順序
			UNIT1000	U001	SR001	1
			UNIT1100	U002	SR002	1
			UNIT1100	U003	SR003	1
			UNIT1200	U001	SR002	2
			UNIT1200	U004	SR003	1

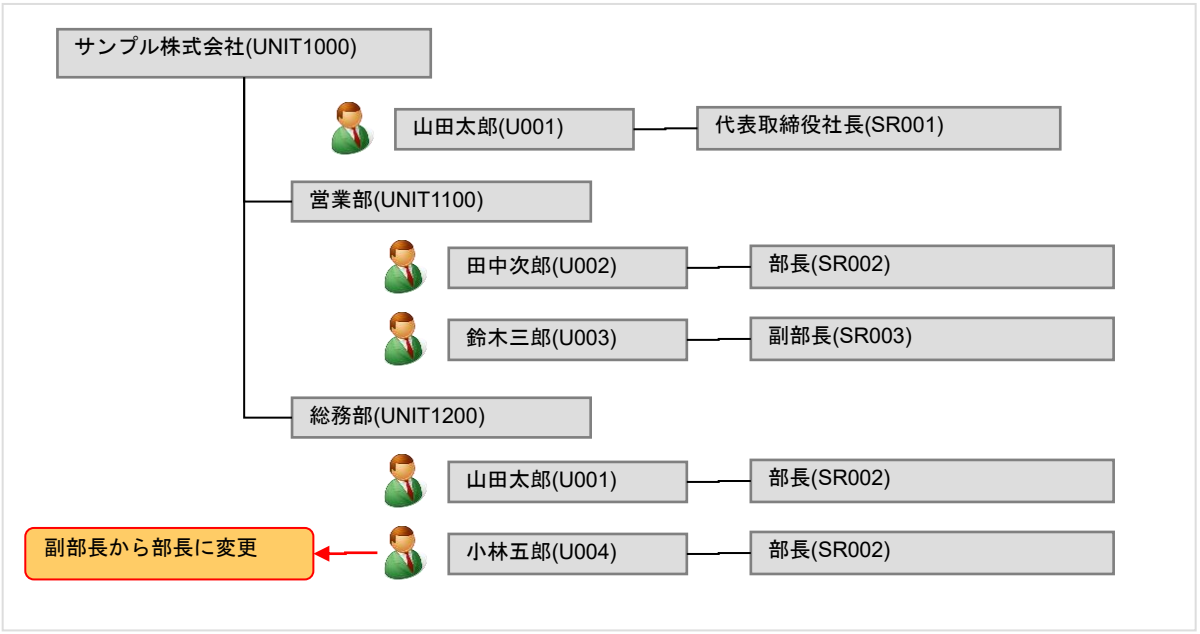
▼ 差分取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	組織 コード	ユーザー コード	セクションロール コード	ユーザーの 所属組織 表示順序
1			UNIT1200	U005		1

ユーザーのセクションロール変更の例

▼ 説明

・　セクションロール変更は、昇格や降格などのシーンで利用されるデータ例です。
・　下記例は、「総務部(UNIT1200)」の「小林五郎(U004)」が部長となる例です。
・　差分取込の場合、追加する所属データのみの CSV を用意します。
・　全件取込の場合、全件の所属 CSV を用意します。



【CSV データ例】

▼ 全件取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	組織 コード	ユーザー コード	セクションロール コード	ユーザーの 所属組織 表示順序
			UNIT1000	U001	SR001	1
			UNIT1100	U002	SR002	1
			UNIT1100	U003	SR003	1
			UNIT1200	U001	SR002	2
			UNIT1200	U004	**SR002**	1

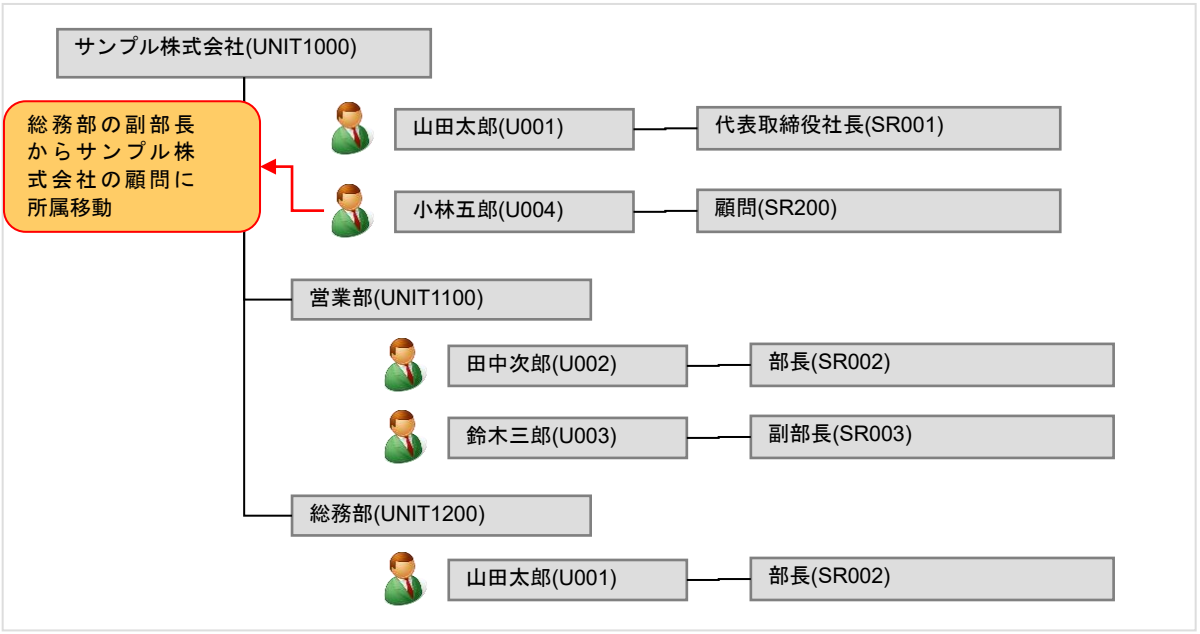
▼ 差分取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	組織 コード	ユーザー コード	セクションロール コード	ユーザーの 所属組織 表示順序
			UNIT1200	U004	**SR002**	1

ユーザーの所属組織異動の例

▼ 説明

・　下記例は、「小林五郎(U004)」が「総務部(UNIT1200)」から「サンプル株式会社(UNIT1000)」の顧問に組織異動する例です。
・　差分取込の場合、追加する所属データに加えて、削除する所属データが必要です。
・　全件取込の場合、全件の所属 CSV を用意します。



【CSV データ例】

▼ 全件取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	組織 コード	ユーザー コード	セクションロール コード	ユーザーの 所属組織 表示順序
			UNIT1000	U001	SR001	1
			UNIT1100	U002	SR002	1
			UNIT1100	U003	SR003	1
			UNIT1200	U001	SR002	2
			UNIT1000	U004	**SR200**	1

▼ 差分取込の場合

削除 フラグ	適用 開始日	適用 終了日	組織 コード	ユーザー コード	セクションロール コード	ユーザーの 所属組織 表示順序
1			UNIT1200	U004	SR003	1
			UNIT1000	U004	**SR200**	1

【注意事項】
差分取込の場合、所属組織が異動させるには、
・　既存データの適用終了レコード
・　新規所属レコード
の 2 レコードが必要となります。

8. 履歴モードについて

履歴モードとは、AgileWorks の組織やフォームなどのデータに履歴を持たせて運用するかどうかを設定する機能です。
AgileWorks を新規インストールされた環境では無効になっています。

本書に出てきた「適用開始日」、「適用終了」は履歴モードが有効な際に利用する設定です。

以下、履歴モードが有効な際の適用開始日・終了日の利用例です。
履歴モードの詳細は別紙「Aw15-履歴モード利用ガイド」を参照ください。

8.1. 履歴モード有効時のデータ例

▼例①：部署の異動
2014/04/01～2015/03/31 までは営業 1 部に所属していたが、2015/04/01 から営業本部所属となった

▼作成するデータ

所属部署	適用開始日	適用終了日
営業 1 部	2014/04/01	2015/03/31
営業本部	2015/04/01	----/--/--

▼例②：退職
2005/04/01 に入社したユーザーA が 2015/03/31 に退社した。

▼作成するデータ

対象ユーザー	適用開始日	適用終了日
ユーザーA	2005/04/01	2015/03/31